

＜平成30年度＞

第7回 理事会議案書

平成31年 1月 18日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

平成30年度
第7回理事会 議事次第

一般社団法人 全国鐵構工業協会

場 所：鉄鋼会館 805号室

日 時：平成31年1月18日(金)

12:00~14:00

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告(定款第36条)

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 審議事項

資 料

第1号議案 全構協の「基本理念・行動指針」の制定について ----- 理30-7-議1 <p3-4>

第2号議案 工場認定条件の保持状況確認の実施について ----- 理30-7-議2 <p5-10>

6. 報告事項

(1) 高力ボルトの需給安定化に向けた対応について ----- 理30-7-報1 <p12-17>
〔国交省 建設業課長等からの協力要請〕

(2) トラック受渡条件におけるルールの確認とお願い ----- 理30-7-報2 <p18-20>
〔日本鉄鋼連盟からの協力要請〕

(3) 委員会報告 ----- 理30-7-報3 <p21-22>
①品質管理委員会

(4) その他

7. その他の事項

(1) 構成員登録状況 ----- 理30-7-他1 <p24-28>

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- 理30-7-他2 <p29>

(3) 主要会議日程(H30年度) ----- 理30-7-他3 <p31>

(4) 2019年度主要会議日程(案) ----- 理30-7-他4 <p32>

(5) 支部報告 ----- 理30-7-他5 <p33-50>

(6) その他

8. 閉会の辞

以上

第1号議案

当協会の「基本理念・行動指針」を別紙〔p3〔理 30-7-議 1〕〕のとおり
制定する案について、承認の決議をいただきたい。

第2号議案

国交大臣認定の工場審査時に確認された品質管理体制が、5年後の
次回審査時まで保持されていることを確認するため、資格者充足状況等
に関する中間確認を別紙〔p5〔理 30-7-議 2〕〕のとおり実施する案につ
いて、承認の決議をいただきたい。

[理 30-7-議 1] 第 1 号議案

全構協の「基本理念・行動指針」の制定について

1. 制定の背景・目的

- ・ 近年のコンプライアンスに対する意識の高まりを背景に、行動規範、倫理規程、行動指針等を制定し、社員の倫理意識の高揚を図るとともに、その姿勢を外部に示す会社・団体が増加している。
- ・ このような中、落橋防止装置製作に関する不正事案に当協会構成員が係ったことを契機に設置された「品質管理体制検討委員会」が取りまとめた品質管理体制改善施策の中でも「倫理綱領の制定と構成員への周知徹底及び遵守の義務化」が提言された。
- ・ 当協会及び構成員が、社会の一員として健全に機能しその役割を果たすためには、協会及び構成員としての理想のあり方(基本理念)と、それを具現化するための実践姿勢(行動指針)を明確にし、その遵守を求めることが必要であり、また、当協会の姿勢を外部に示すため、「基本理念」及び「行動指針」を制定することとしたい。

2. 検討の経緯

- ・ 上記「品質管理体制検討委員会」で倫理綱領制定の検討が進められていることを受け、会長より運営委員会に対して具体案の検討が指示された。
- ・ 平成 29 年 5 月、運営委員会内にワーキンググループが設置され検討を重ねた結果、「基本理念」及び「行動指針」の基本案が取りまとめられ、これが平成 29 年度第 7 回理事会(平成 30 年 2 月 14 日開催)に付議され、語句等の微修正を条件に承認された。
- ・ 平成 30 年 7 月に発足した品質管理委員会において、上記基本案に、語句及び構成の微細な修正を加え、実施案が取りまとめられた。

3. 実施案

- ・ 別紙「全構協 基本理念・行動指針」

4. 周知方法

- ・ 平成 30 年 1 月 18 日開催の 全国理事長会において、趣旨及び内容を説明のうえ、構成員に対する周知徹底と、遵守に向けた指導を要請する。
- ・ 上質紙(A3 版)に印刷し、各県事務局経由全構成員に配布する。(平成 31 年 2 月実施予定)

以上

全構協

基本理念・行動指針

本協会の構成員各社は、基本理念及び行動指針を遵守し、
協会の名誉・信頼を毀損する行為を行いません。
これらに反する行為・事態が発生した場合には、迅速に原因究明
と再発防止に努めます。

I. 基本理念

鉄構製品の適正な品質と安全を確保し、
鉄構工業界の発展と技術向上を目指します。

II. 行動指針

1. 法令遵守、社会的責任

- ・法令を遵守し、社会からの信頼に応えるため、適正かつ公正な業界を目指します。
- ・鉄構工業の社会的使命と役割を認識し、実践します。

2. 品質確保

- ・技術・品質の向上に努め、安全で信頼される鉄構製品を社会に提供します。
- ・鉄構製品の製造においては、法令や契約内容・規準等に従って、顧客の要求事項を確実に実現します。

3. 技能伝承

- ・専門的技術・技能の研鑽に努め、担い手を育成する事により、将来に亘って技術・技能の継承が出来る、活力溢れる業界づくりに努めます。

4. 労働環境、安全

- ・適正な労働環境の確保と改善を実現する事により、働きがいのある業界を目指します。
- ・鉄構工業に携わる人々の安全と健康を確保するため、安全衛生対策の強化・充実に努めます。

5. 人権尊重、反社会的勢力対応

- ・人格と多様性を尊重し、社会との共生、地域社会に貢献する業界を目指します。
- ・反社会的勢力や団体とは一切の関係を持たず、不当な要求に対しては、断固たる態度で臨みます。

平成 31 年 1 月

一般社団法人 全国鐵構工業協会

[理 30-7-議 2] 第2号議案

工場認定条件の保持状況確認の実施について

1. 経緯と内容

- ・ H27 年 8 月に、勸進橋での落橋防止装置等の溶接不良事案が発生。
- ・ H27.12.28 経産省・国交省から全構協へ、「落橋防止装置等の溶接不良の再発防止について」要請があった。
- ・ H30.1.30 全構協から経産省・国交省へ、品質管理体制検討委員会の検討結果をご報告。以降、品質管理委員会の提言を受け、実行委員会で検討を行ってきた結果、以下の施策に取り組むことにしたい。

第 2 号議案	全構協が構成員の工場認定条件の保持状況を認定期間中に中間確認する。	【目的】 工場認定制度および鉄構製品の信頼性確保
---------	-----------------------------------	-----------------------------

2. 保持状況を確認すべき理由

工場認定制度において、工場審査時に確認した品質管理体制に変更が生じた場合には、その旨を 1 ヶ月以内に性能評価機関に届出することになっている。

しかしながら、資格者の充足状況を認定期間の途中で確認するようにはなっていないため、届出がない場合には、次回更新審査時まで必要な品質管理体制が保持されないままになってしまっている、といったことが懸念されている。

3. 確認する内容（別紙参照）

- ・ 構成員会社（都道府県、工場名、所在地、代表者、品質管理責任者、グレード、性能評価年月日、性能評価番号）
- ・ 品質管理技術者別
技術者の氏名、生年月日、雇用保険番号（通知書添付）、資格名称（資格証添付）、認定番号、登録年月日、有効期限他
- ・ 工場への立入検査は行わず、書類確認のみとする。
- ・ 不適合の場合には、猶予期間を設けて適合状態になるように指導する。

4. 対象構成員

- ・ 2019 年度：全認定工場
- ・ 2020 年度以降：認定更新 3 年目の工場

5. 確認ルート

全構協より、各都道府県組合 理事長、事務局宛に協力依頼書を送付。

県事務局より、構成委員各社に認定条件の保持状況の報告を依頼して頂く。報告書は、県事務局経由で全構協に提出して頂く。

6. 時期

- ・ 全構協より、確認依頼書の提出：2019 年 3 月
- ・ 構成員各社より、報告書の提出：2019 年 6 月末

7. その他

実施詳細は、今後詰めていく。

以上

各都道府県組合 理事長殿

各都道府県組合 事務局殿

經由

構成員各社殿

2019年3月 日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

会 長

米森 昭夫

工場認定条件の保持状況確認への協力依頼（案）

拝啓

時下益々、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、国土交通大臣が鉄骨製作工場において溶接された鉄骨の溶接部を認定する制度（以下、工場認定制度という）において、工場審査時に確認した品質管理体制に変更が生じた場合には、その旨を1ヶ月以内に性能評価機関に届出することになっております。

しかしながら、資格者の充足状況を認定期間の途中で確認するようにはなっていないため、届出がない場合には、次回更新審査時まで必要な品質管理体制が保持されないままになってしまっている、といったことが懸念されております。

このため、今般、「全構協 基本理念・行動指針」の制定を機に、工場認定制度および鉄構製品の信頼性確保を図るため、工場認定を受けた構成員各社を対象に、「工場認定条件の保持状況」を確認することと致しました。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、下記調査に御協力いただきたく宜しくお願い致します。

敬具

－記－

1) 調査目的

工場認定性能評価申請時の品質管理体制の保持状況の確認

2) 調査内容（別添資料参照）

・構成員会社（都道府県、工場名、所在地、代表者、品質管理責任者、グレード、性能評価年月日、性能評価番号）

・品質管理技術者別

技術者の氏名、生年月日、雇用保険番号（通知書添付）、
資格名称（資格証添付）、認定番号、登録年月日、有効期限

3) 提出先

各都道府県組合 事務局

4) 期限

2019年6月30日

お問い合わせ先

事務局：TEL 03-3667-6501 担当：猪砂(いのさこ)

受付番号：

2019 年 月 日

各都道府県組合 理事長殿

各都道府県組合 事務局殿

經由

(一社) 全国鐵構工業協会 殿

工場認定条件の保持状況報告書

掲題の件、別紙の通り報告致します。
この報告書に記載の事項は、事実と相違ありません。

組合名：

貴社工場名：

所在地：

代表者 氏名： _____ 印 _____

品質管理責任者 氏名：

グレード: J R M H S

性能評価 年月日：平成 年 月 日

性能評価 番号:

以上

評価申請諸元表

※1

申請者情報				工場審査年月日		平成 年 月 日		
申請 グレード	0	都 道 府 県	申請 工場名	工場審査 希望日	第1希望	平成 年 月 日	第2希望	平成 年 月 日
雇用保険事業所番号				申請担当者 所属 () 氏名 ()				
1 品質管理 体制	品質管理技術者	氏 名 ※2,3 (雇用保険被保険者番号)	生年月日 (被保険者となった年月日)	資格名称	認定番号	登録年月日	有効期限	評価
	① 製作管理技術者	()	年 月 日			年 月	年 月	
	② 溶接管理技術者	()	年 月 日			年 月	年 月	
	③ (a) 製品検査 管理技術者	()	年 月 日			年 月	年 月	
	(b) 超音波検査 管理技術者	()	年 月 日			年 月	年 月	
	④ 工作図管理技術者	()	年 月 日			年 月	年 月	
	※4 ⑤ 溶接技能者 (横向き申請: ☐ 有 ☐ 無)	()	年 月 日			年 月	年 月	
	⑥ 外注管理責任者		年 月 日			年 月	年 月	
	⑦ 材料管理責任者		年 月 日			年 月	年 月	
	⑧ 品質管理者		年 月 日			年 月	年 月	
2 社内基準 の整備	規 格 名 称		発行年月日	発行部門		責任者名		評価
	① 工作図作成基準		年 月 日					
	② 工 作 基 準		年 月 日					
	③ 検 査 基 準		年 月 日					
	④ 製作要領書作成基準		年 月 日					
	⑤ 外 注 管 理 基 準		年 月 日					
3 製造 設備 の 種 類	製造設備名称		数量	評価	検査設備名称		数量	評価
	① 鋸 盤				① 温 度 チ ョ ー ク			
	② 直 立 ボ ー ル 盤				② 表 面 温 度 計			
	③ ポータブル自動ガス切断機				③ 電 流 ・ 電 圧 計			
	④ 被 覆 ア ー ク 溶 接 機				④ 超 音 波 探 傷 試 験 機			
	⑤ CO ₂ ガスシールドアーク溶接機				⑤ 浸 透 探 傷 器 具			
	⑥ アークエアガウジング機				⑥ ル ー ペ (× 5 以 上)			
	⑦ クレーン(能力 トン トン)				⑦ 検 査 台			
	⑧ 下 向 溶 接 用 治 具				⑧ 溶 接 ゲ ー ジ			
	⑨ 下 向 溶 接 用 回 転 治 具				⑨ す き 間 ゲ ー ジ			
	⑩ 溶 接 棒 乾 燥 機				⑩ ア ン ダ ー カ ッ ト ゲ ー ジ			
	⑪ プ ラ ス ト 設 備				⑪ 鋼 製 巻 尺			
	⑫ エレクトロスラグ自動溶接機				⑫ 膜 厚 計			
	⑬ サブマージ自動溶接機				⑬ その他測定検査器具 ()			
⑭ フェーシングマシン				総 合 評 価				

※1 申請者は、太枠一内を記入のこと。

※2 雇用保険被保険者番号のない会社役員、親族についてはその旨を、65歳以上については満年齢を明記すること。

※3 親族の場合は、続柄を記入すること。

※4 J及びRグレードの溶接技能者については、横向き申請の該当する項目の(□)をクリックしてチェックマークを表示させてください。

(JSAO-3-1)

<資格証（写）貼付欄>

① 製作管理技術者 上部糊付け	② 溶接管理技術者 上部糊付け
③（イ）製品検査管理技術者 上部糊付け	③（ロ）超音波検査管理技術者 上部糊付け
④ 工作図管理技術者 上部糊付け	⑤ 溶接技能者 上部糊付け

※裏に貼付しない。縮小して前面に貼付する。

(JSAO-3-2)

＜雇用保険被保険者資格取得等確認 通知書（写）貼付欄＞

① 製作管理技術者	上 部 棚 付 け
② 溶接管理技術者	上 部 棚 付 け
③ (イ) 製品検査管理技術者	上 部 棚 付 け
③ (ロ) 超音波検査管理技術者	上 部 棚 付 け
④ 工作図管理技術者	上 部 棚 付 け
⑤ 溶接技能者	上 部 棚 付 け

※被保険者番号、被保険者氏名、被保険者となった年月日、事業所名略称等が確認できるように貼付すること。

※①～⑤の中に同一人がある場合には、いずれか一箇所のみ貼付で省略可。

※雇用保険被保険者番号のない会社役員、親族についてはその旨を、65歳以上については満年齢を明記すること。

※会社役員の場合は会社登記書、65歳以上の人の場合は雇用契約書のコピーを添付すること。

報 告 事 項

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成 30 年 11 月 22 日

土地・建設産業局建設市場整備課

建設現場の高力ボルト需給ひっ迫を受け緊急調査を実施 8割強で工期に影響

～「高力ボルトの需給動向等に関するアンケート調査」の結果を公表～

国土交通省では、建設現場での高力ボルトの需給ひっ迫の声を受け、10月25日より全国で「高力ボルトの需給動向等に関するアンケート調査」を実施しました。

調査の結果、需給動向は全国的に“ひっ迫”傾向にあり、納期も通常より長期化している傾向が確認されました。また、将来（3ヶ月後）においても同様の傾向が予想される結果となりました。

※高力ボルト：建物の鋼材などの接合に使われる高い強度を持つボルト

1. 調査

- (1) 調査対象：鋼材関係を取り扱う供給側及び需要側の558社
- (2) 調査項目：『価格・需給動向』、『納期の状況』、『関連する工事の工期への影響』等
- (3) 調査期間：平成30年10月25日～11月2日
- (4) 調査方法：アンケート
- (5) 有効回答：305社（回答率：約55%）

うち、高力ボルトの取扱いありと回答したのは159社

2. 結果

- (1) 需給動向：「ひっ迫」
「緩和」「やや緩和」「均衡」「ややひっ迫」「ひっ迫」を1～5点として回答。全国平均4.76。
- (2) 価格動向：「やや上昇」
「下落」「やや下落」「横ばい」「やや上昇」「上昇」を1～5点として回答。全国平均4.28。
- (3) ひっ迫の状況：
 - ・工事種類では建築が53%、土木が34%
- (4) 要因として聞かれた声：
 - ・再開発を含めた建築等の需要が旺盛
 - ・ボルトメーカーに対する材料供給が追いついていない 等
- (5) 納期及び工期への影響：
 - ・高力ボルト（全般）の納期は、通常時の約1.5か月程度から約6か月程度まで長期化している
 - ・回答があった社の8割強で工期に影響があると回答

【問い合わせ先】

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室
TEL:03-5253-8111（代表） 03-5253-8283（直通） FAX:03-5253-1555
課長補佐 鷲尾（内線 24863） 資材係長 小西（内線 24864）

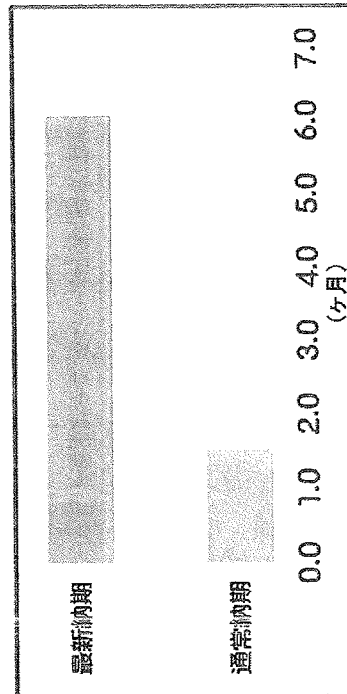
高力ボルトの需給動向等に関する調査結果



- 需給ひっ迫、納期長期化の要因としては、再開発を含めた建築等の需要が旺盛なこと、ボルトメーカーに対する材料供給が追いついていないことが主な要因とする声が聞かれた。
- 高力ボルト（全般）の納期は、通常時の約1.5か月程度から約6か月程度まで長期化している。
- 納期延期により工事工期に影響を受ける場合は、受注者と発注者で工期変更含めた調整して対応しているものもある。

納期

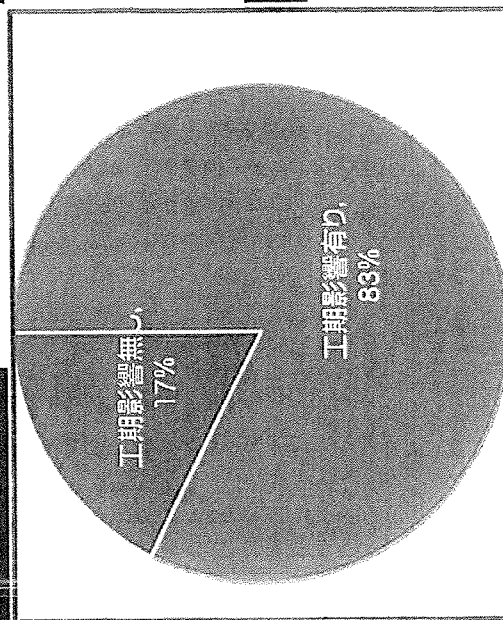
※回答があった納期を平均したもの
※最大納期は、1年以上の場合もある



高力ボルト 納期について (地方ブロック毎)



工期への影響



※高力ボルト取扱い社のうち、工事工期への影響について回答が得られたものから集計

納期長期化要因 (調査回答結果より抜粋・要約)

- ・東京オリンピック、大型再開発など、ここ数年建築の物件が多く、鉄骨需要が旺盛な状況が続いている
- ・ボルトの材料となる鋼材の供給が追いつかず、ボルトメーカーの生産がボルトの需要に追いついていない
- ・ボルトの材料となる鋼材は「自動車」「機械」「建設」で使用されているが、「自動車」「機械」が好調であるため「建設」に回る量がボルトの需要に追いついていない
- ・溶接工不足により、鋼材の継手部がボルト継手に変更された為、需要が増えたなどの話もある

調査対象者が行っている対応 (調査回答結果より抜粋・要約)

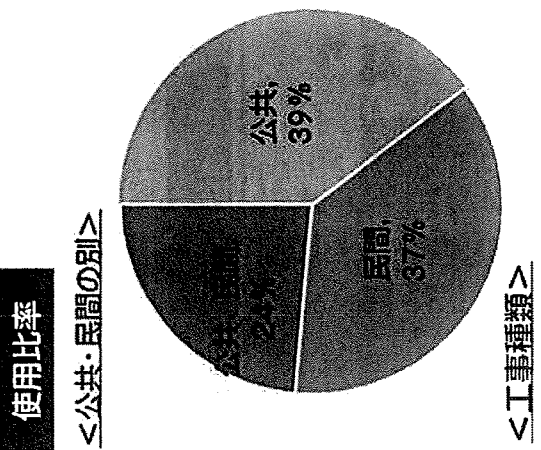
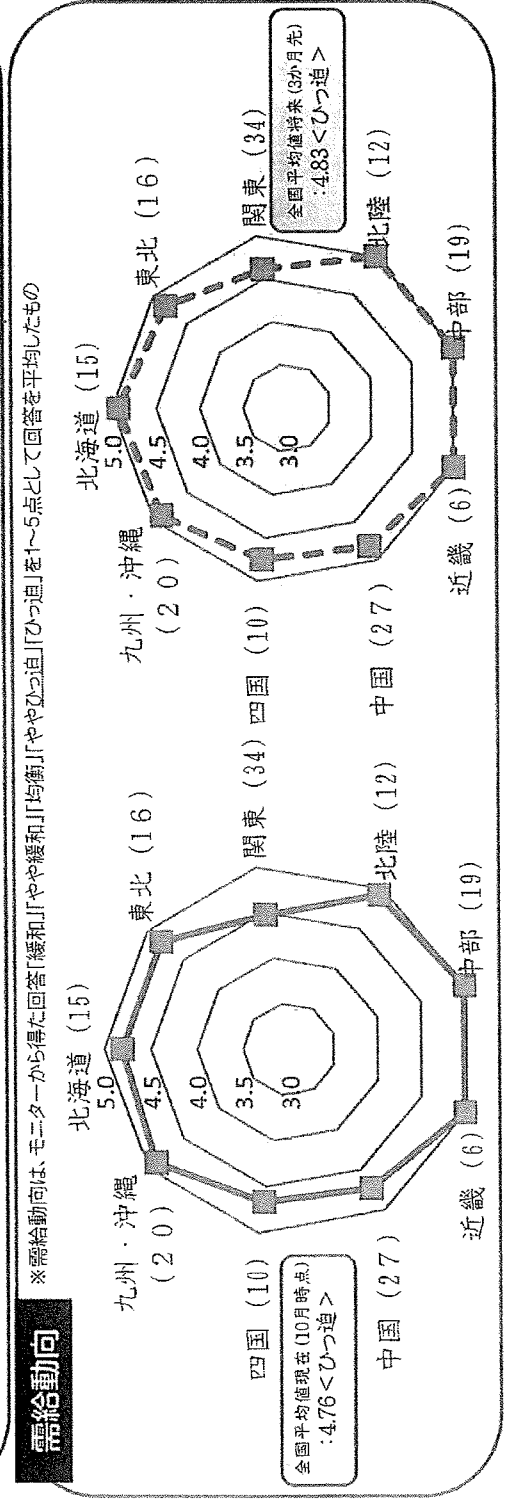
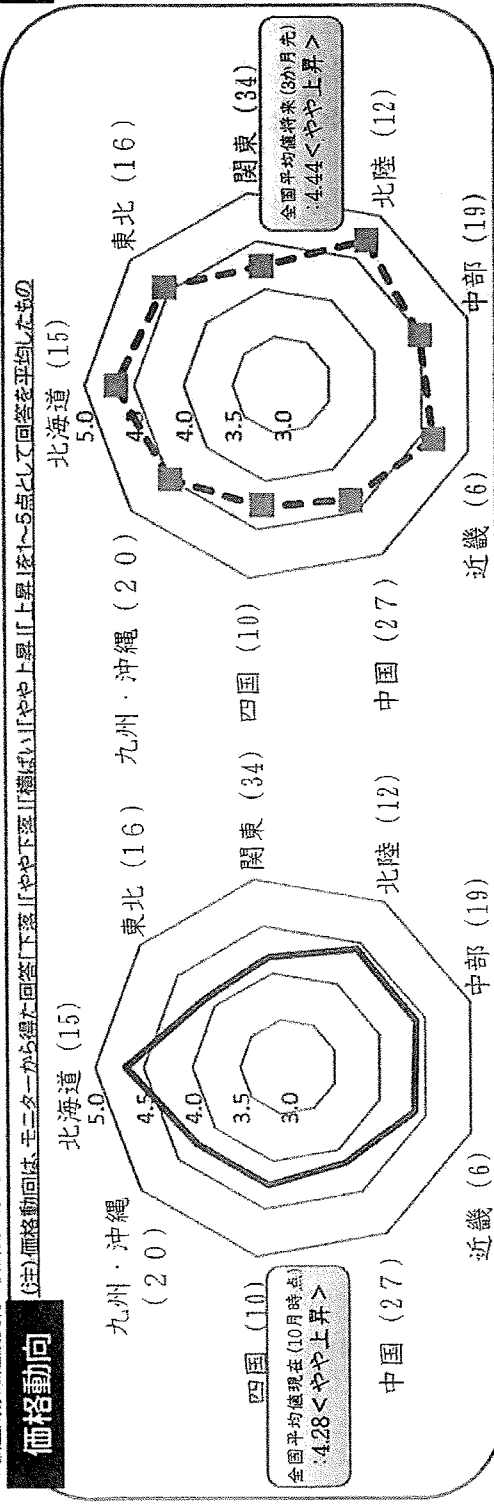
- ・工事工期や工法の変更等を官民発注者に協議している
- ・必要なボルトの早期発注を行う

高力ボルトの需給動向等に関する調査結果



- 高力ボルトに関する『価格・需給動向』や『納期の状況』、『関連する工事の工期への影響』等について調査を実施（平成30年10月時点）
- 調査回答社：305社（回収率：55% 調査対象数：558社）。その内 高力ボルト取扱い社は供給側と需要側合わせて159社。
- 調査結果をみると、
 - ・全国的に需給動向は、“ひっ迫”傾向。将来（3ヶ月後）においても同様の傾向。
 - ・高力ボルト使用比率は、建築で53%、土木34%

※調査対象は建設資材の供給側と需要側から全国558社を選定（うち有効回答者数全国305社）。カッコ内数字は回答社数



※高力ボルト取扱い社のうち、工事工期への影響について回答が得られたものから集計

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成 30 年 12 月 26 日

土地・建設産業局建設市場整備課

建設現場の高力ボルト需給安定化を業界に要請

～需給ひっ迫緊急調査に続く措置第二弾！～

- 国土交通省では、全国的な建設現場の高力ボルト需給ひっ迫を受け、10月～11月にかけて緊急調査を実施し、結果を公表することで余裕を持った工期設定や必要なボルトの早期発注を促してきました。
- この度、緊急調査に続く措置第二弾として、高力ボルトの需給安定化に向け、建設業団体等需要側に対し、計画的発注等の取組を要請しました。
- あわせて、経済産業省と連携し、供給側に対しても、安定供給に向けた協力を要請しました。

1. 要請内容

別添資料のとおり。

2. 要請先

◇需要側（建設業団体等）

- （一社）日本建設業連合会
- （一社）全国建設業協会
- （一社）全国中小建設業協会
- （一社）建設産業専門団体連合会
- （一社）プレハブ建築協会
- （一社）日本建設業経営協会
- （一社）鉄骨建設業協会
- （一社）全国鐵構工業協会
- （一社）日本橋梁建設協会

◇供給側

- （一社）日本鉄鋼連盟
- （一社）日本ねじ工業協会

【問い合わせ先】

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室
TEL:03-5253-8111（代表） 03-5253-8283（直通） FAX:03-5253-1555
課長補佐 鷲尾（内線 24863） 資材係長 小西（内線 24864）

国土建第345号

国土建整第72号

平成30年12月26日

建設業団体等の長 あて

国土交通省 土地・建設産業局 建設業課長



国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課長



高力ボルトの需給安定化に向けた対応について（協力要請）

建設工事を円滑に施工する上で、建設資機材の需給の安定は重要であり、建設業界において積極的に取り組んでいく必要があります。

現在、建設資材として使用される高力ボルトにおいて、全国的に需給のひっ迫、調達困難な状況が生じております。先般、11月22日に国土交通省が公表した『高力ボルトの需給動向に関する調査』結果においても、全国的な需給のひっ迫が確認されており、納期は通常時の約1.5ヶ月程度から約6か月程度まで長期化し、8割強の工事で工期に影響が及んでいる状況となりました。

需給動向は様々な要因により決まるものであり、ひっ迫の要因は必ずしも定かではありませんが、置き置きなどで実需以上の注文が一時的に発生している可能性もあります。このため必要となる時期と数量を明確にした計画的発注等の取組を促進して頂きたい、貴団体加盟各社への周知方お願い申し上げます。

国土建労第1345号

20181226 製局第1号

平成30年12月26日

一般社団法人 日本鉄鋼連盟 宛

一般社団法人 日本ねじ工業協会 宛

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課長

経済産業省 製造産業局 金属課長

経済産業省 製造産業局 産業機械課長

高力ボルトの需給安定化に向けた対応について（協力要請）

建設工事を円滑に施工する上で、建設資機材の需給の安定は重要であり、供給者も含めた関係者の全面的な協力が求められます。

現在、建設資材として使用される高力ボルトにおいて、全国的に需給のひっ迫、調達困難な状況が生じております。先般、11月22日に国土交通省が公表した『高力ボルトの需給動向に関する調査』結果においても、全国的な需給のひっ迫が確認されており、納期は通常時の約1.5ヶ月程度から約6か月程度まで長期化し、8割強の工事で工期に影響が及んでいる状況となりました。

貴団体におかれましては、建設工事の円滑な施工に向けて市場の整流化や発注への計画的対応等、安定供給への可能な限りのご協力をお願いしたく、貴団体加盟各社への周知方お願い申し上げます。

30 鉄鋼連業務第 359 号

平成 30 年 12 月 11 日

関係需要家団体 殿

一般社団法人 日本鉄鋼連盟

物流政策委員会

委員長 橋本 隆雄



トラック受渡条件におけるルールの確認とお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

掲題の件、トラックによる製品納入において、一部の受渡場所では受渡条件のルールが守られていないケースが発生しております。具体的には、受渡条件『トラック持込乗渡(コード:35)』(別紙参考資料参照)では、基本的に、鋼材の荷卸作業は受入側(受渡場所)で実施すべきですが、トラック乗務員が荷卸作業を行っているケースが報告されております。

こうした行為につきましては、納入側が付帯作業として委託した事実も無く、上記受渡条件により依頼することも出来ないことから、受入側(受渡場所)が個別にトラック乗務員に委託されていることとなります。しかしながら、このような作業は、接点業務における混在作業となるため、労働災害等の安全上のリスクが懸念される上、無償で作業を委託することは、国土交通省が平成29年11月に「運賃」と「荷卸し」や「待機時間」等、運送以外の役割についての「料金」を区別するよう通知した『標準貨物自動車運送約款の改正』上も、受入側(受渡場所)のコンプライアンス上の問題も惹起してしまう可能性があるものと思料します。つきましては貴団体の加盟企業内において、上記受渡条件のルールが守られているかをご確認の上、下記ご対応を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

記

(1) 確認事項

ルール (契約)	受渡条件『トラック持込乗渡』では、トラックが受渡場所に到着後、シート外し・解縛し、製品が受取れる状態にするまでが納入側(トラック乗務員)の作業であり、以降の荷卸作業(*)は受入側(受渡場所)の作業となります。 (*)受入側(受渡場所)が行うべき荷卸作業 クレーン・リフト操作、玉掛(含む補助)、開梱、バンド切断、マーキング、ラベル貼付、検収(受領印)等
---------------------	--

(2) お願い事項

- ・受入側(受渡場所)での荷卸作業の徹底。
…作業担当者レベルまでの展開、徹底をお願いします。
- ・実施時期:平成31年3月末までのルール遵守・徹底をお願いします。

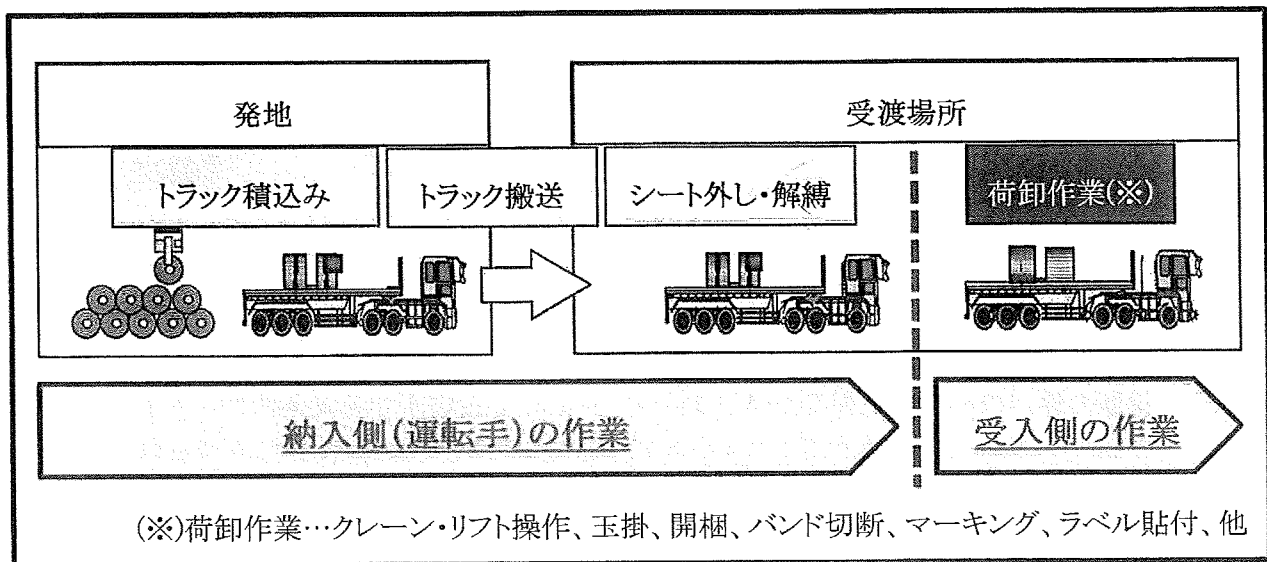
なお、本件とは別途、トラックの待機時間の削減等、ドライバーの労働条件改善等についても要望させていただきたく、引き続きお願い申し上げます。

以 上

18団体

(参考資料)

・トラック持込乗渡(コード:35)のフロー

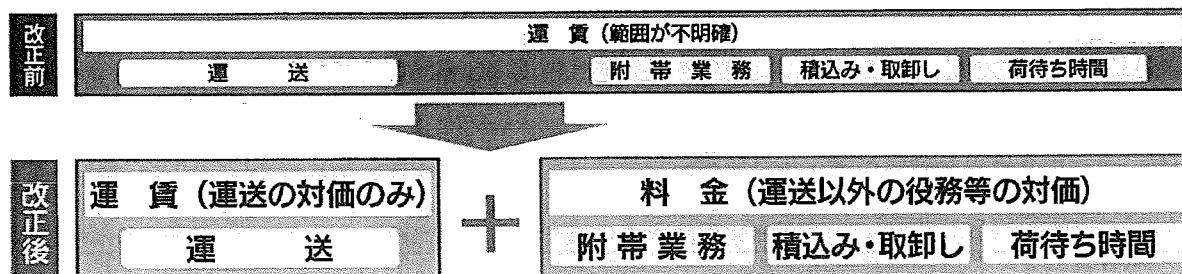


平成29年11月4日よりトラック運送における 運賃・料金の収受ルールが変わります。

標準貨物自動車運送約款等の改正概要

① 「運賃」と「料金」の区別を明確化します

運賃が運送の対価であることを明確化します。



② 「待機時間料」を新たに規定します

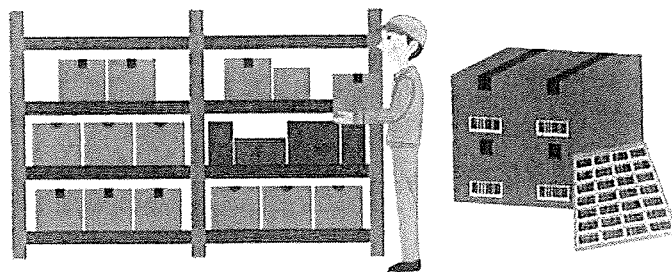
荷主都合による
荷待ち時間の対価を
「待機時間料」とします。



③ 附帯業務の内容をより明確化します

附帯業務の内容に「棚入れ」、
「ラベル貼り」等※を追加します。

※その他追加する附帯業務：「横持ち」、「縦持ち」、
「はい作業（倉庫等において箱等を一定の方法で
規則正しく積み上げたり崩したりする作業）」



標準貨物自動車運送約款とは？

国土交通省が制定するトラック事業者と荷主の契約書のひな形です。



国土交通省



公益社団法人
全日本トラック協会

都道府県トラック協会

全国鐵構工業協会 品質管理体制検討委員会 報告書 (概要)

1. 背景・経緯

(1) 落橋防止装置等の溶接不良事案の概要

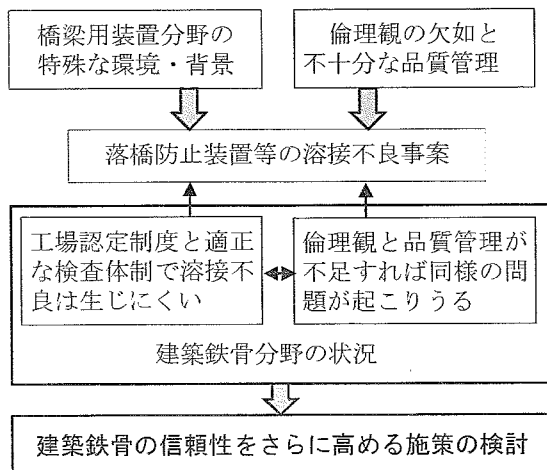
H.27.8	勸進橋での落橋防止装置の溶接不良発覚	製作会社の久富産業（全構協の構成員ではない）と検査会社による不正行為の疑い。
	国交省による久富産業の製品の検査	全 205 橋のうち 169 橋で不良品が発見される。
	国交省による久富産業以外の製品の検査	全 357 社のうち 11 社の製品で不正行為。 （うち 1 社は全構協の構成員）
H27.12	国交省の有識者委員会の中間報告書	原因分析と再発防止策を提言。

(2) 行政と全構協のやり取り

H27.12.28	経産省・国交省から全構協への依頼	「落橋防止装置等の溶接不良の再発防止について」 ・品質管理体制や検査方法の遵守を傘下の会員に周知すること。 ・協会としての対応を検討し速やかに回答すること。
H28.1.27	全構協から経産省・国交省に対する回答	「落橋防止装置等の溶接不良の再発防止策等についてご報告」 ・全会員に口頭と書面による指導を実施済み。 ・建築鉄骨の信頼性をさらに高めるための専門の検討チームを設置。

2. 品質管理体制検討委員会の設置

(1) 設置の趣旨



(2) 設置の目的

建築鉄骨に精通した外部有識者をもって、専門的見地から建築鉄骨の品質管理の課題と原因および対策案を検討し、全構協会長に答申する。

(3) 委員会の体制

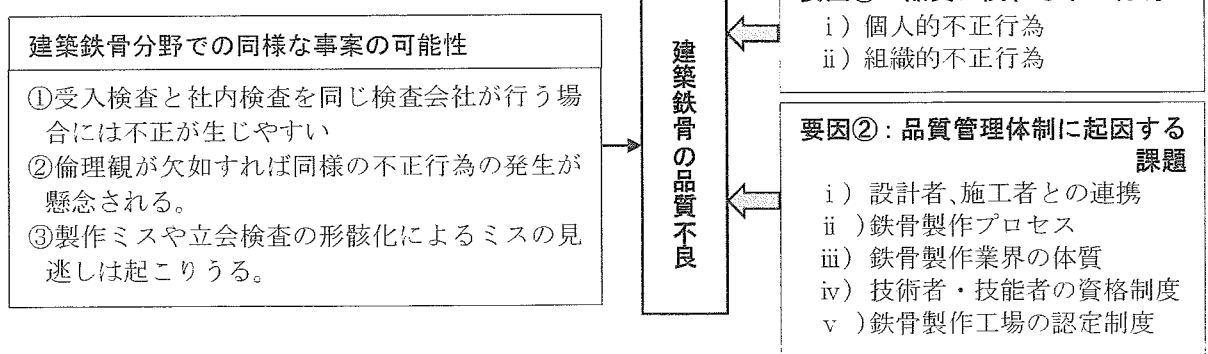
	氏名	所属
委員長	竹原 巖	(一社) 全国鐵構工業協会
委員	橋本篤秀	千葉工業大学 名誉教授
委員	渡辺 仁	(一社) 日本建築構造技術者協会
委員	犬伏 昭	(一社) 日本建設業連合会
委員	護 雅典	AW 検定協議会
委員	山口種美	(株) 全国鉄骨評価機構

3. 検討内容

(1) 落橋防止装置等の溶接不良事案の分析

※国交省の有識者委員会の中間報告書参照

(2) 建築鉄骨の品質不良の要因分析



平成30年1月30日

4. 施策の提言

(1) 全構協が行う施策の提言

施策A (早期)	全構協の倫理綱領を定め、構成員に遵守を義務付ける。	【目的】不正行為による不良鉄骨の発生防止
A1	全構協倫理綱領の制定	
A2	全構協倫理綱領の実効性の確保（・経営者に対する周知徹底・従業員の倫理教育等・罰則）	
A3	全構協の資格者登録規程への倫理的事項の追加 (鉄骨製作管理技術者、建築鉄骨製品検査技術者、建築鉄骨超音波検査技術者)	

施策B (早期)	全構協が構成員の工場認定条件の保持状態を保証する。	【目的】構成員の社会的信用の確保と正会員（各都道府県組合等）の構成員に対する指導力維持
B1	全構協による工場審査の現有資格者名簿の確認 〔毎年定期的に審査時の現有資格者名簿に見え消しで変更事項を上書きして、所属組合等の確認を経て全構協に提出する〕	

施策C (長期)	鉄骨製作業界の改善、資格者制度の見直し、および現状の工場認定制度の課題を整理する。	【目的】鉄骨製作業界と団体の信頼性の向上
C1	価格と工期の適正化活動	①契約書式と見積単価標準を設定し公開する。 ②標準製作工期を設定し公開する。
C2	鉄骨の品質向上活動	①設計・施工・鉄骨製作業界で鉄骨設計・製作の効率化と品質向上に関する懇談会を設立する。
C3	資格者制度の見直し	①鉄骨製作管理技術者の社会的信頼性と技術力を向上させる。 ②建築鉄骨製品検査技術者・建築鉄骨超音波検査技術者の社会的信頼性と業務の重要性の認知度を向上させる。（資格者登録まで全構協と鉄建協が行い、責任を持って資格者を登録管理・育成する。）
C4	現状の工場認定制度の問題点の整理及び生産能力と総合的技術力の自主的評価制度の検討	①現状の大臣認定制度の課題・問題点を整理するとともに、全構協が工場の生産能力や総合的技術力等を自主的に評価する制度を検討する。
C5	起用ファブ評価制度の検討	①物件ごとのファブの評価を、設計者・工事監理者・施工者に対しアンケート調査する制度を検討する。

(2) 関連業界に対する施策の提言

施策D	設計業界への提言
D1	設計図の品質向上
D2	製作に配慮した鉄骨設計
D3	工作図のチェックと承認の迅速化
D4	工事監理の質の向上

施策E	建設業界への提言
E1	適正価格での発注と契約条件の明確化
E2	適正な製作工期の確保
E3	工作図のチェックと承認の迅速化
E4	現場の鉄骨担当者の育成

施策F	検査業界への提言
F1	社内検査と受入検査の兼業防止の徹底
F2	検査技術の向上と判定のばらつきの低減
F3	鉄骨専用検査資格の制定・育成・活用の検討

施策G	材料メーカー、流通業界への提言
G1	鋼材の寸法精度の向上
G2	めっき割れ対策
G3	鋼材の識別表示標準の遵守
G4	水系防錆塗料の施工要領の確立

そ の 他 の 事 項

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
平成30年3月31日現在 (平成29年度増減数)		56	27	2,201
平成30年5月22日 第1回理事会	3月31日	(0)	(7)	2,201
平成30年6月8日 第2回理事会	6月1日	13	3	2,211
平成30年6月8日 第3回理事会	—	—	—	—
平成30年7月12日 第4回理事会	7月5日	4	3	2,212
平成30年9月20日 第5回理事会	9月13日	4	6	2,210
平成30年11月15日 第6回理事会	11月8日	6	2	2,214
平成31年1月18日 第7回理事会	1月11日	4	2	2,216
累 計		31	16	2,216

《グレード別内訳》

S : 5 H : 248 M : 828 R : 604 J : 53 未 : 478 合計 : 2,216

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

平成31年1月11日現在

区分	登録・取消 承認	増 減								増減差	増 減 後 構 成 員 数
		登録 社数	取消社数								
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	その他	合 計		
平成10年度合計		67	21	48	26	11	11	94	211	-144	3,959
平成11年度合計		46	63	76	32	18	4	86	279	-233	3,726
平成12年度合計		22	48	52	31	11	5	83	230	-208	3,518
平成13年度合計		22	48	59	37	10	8	117	279	-257	3,261
平成14年度合計		40	67	37	45	21	4	110	284	-244	3,017
平成15年度合計		33	38	28	38	4	9	84	201	-168	2,849
平成16年度合計		65	13	22	18	2	1	45	101	-36	2,813
平成17年度合計		35	15	16	14	2	3	28	78	-43	2,770
平成18年度合計		49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739
平成19年度合計		51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711
平成20年度合計		49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201
平成 30 年度	第 2 回 (6月1日)	13	1	0	0	0	0	2	3	10	2,211
	第 3 回 (月 日)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	第 4 回 (7月5日)	4	1	0	0	0	0	2	3	1	2,212
	第 5 回 (9月13日)	4	0	2	1	0	1	2	6	-2	2,210
	第 6 回 (11月8日)	6	0	0	1	0	0	1	2	4	2,214
	第 7 回 (1月11日)	4	0	0	0	0	0	2	2	2	2,216
	第 8 回 (月 日)										
	第 9 回 (月 日)										
	年度末処理										
	30年度計	31	2	2	2	0	1	9	16	15	2,216
累 計	976	499	648	511	124	79	1,120	2,981	-2,005	2,216	

1. 転・廃業内訳	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	転業 1社	転業 3社	転業 0社	転業 0社	転業 0社
	廃業 5社	廃業 2社	廃業 6社	廃業 9社	廃業 2社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
平成26年度	0	2	6	8	0	23	39
平成27年度	1	1	3	6	0	14	25
平成28年度	0	2	1	8	0	22	33
平成29年度	0	1	4	4	1	17	27
平成30年度	0	1	1	6	0	8	16

構成員登録社数・増減一覽表

(30.11.9~31.1.11)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道	北海道	73	2			75
	青森	38			0	38
	岩手	30			0	30
	宮城	41			0	41
	秋田	23			0	23
東北	山形	25			0	25
	福島	62			0	62
	茨城	61			0	61
	栃木	52			0	52
	群馬	65			0	65
関東	埼玉	53	1		1	54
	千葉	56			0	56
	東京	48			0	48
	神奈川	38			0	38
	新潟	91			0	91
北陸	山梨	31			0	31
	長野	66			0	66
	富山	39			0	39
	石川	32			0	32
	福井	39			0	39
中部	岐阜	71			0	71
	静岡	96			0	96
	愛知	142			0	142
	三重	63			0	63
合 計		2,214	4	2	2	2,216

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	32			0	32
	京都	49		1	-1	48
	大阪	117			0	117
	兵庫	74	1		1	75
	奈良	39		1	-1	38
中国	和歌山	38			0	38
	鳥取	14			0	14
	島根	24			0	24
	岡山	35			0	35
	広島	74			0	74
四国	山口	41			0	41
	徳島	26			0	26
	香川	47			0	47
	愛媛	40			0	40
	高知	22			0	22
九州	福岡	54			0	54
	佐賀	24			0	24
	長崎	19			0	19
	熊本	23			0	23
	大分	20			0	20
	宮崎	23			0	23
	鹿児島	31			0	31
	沖縄	13			0	13
合 計		2,214	4	2	2	2,216

企業一覽表

平成31年1月11日現在
平成31年1月18日決定

(4 社)

[illegible]

構成員登録取消企業一覽表

平成31年1月11日現在
平成31年1月18日決定

(2社)

[illegible]

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

(国土交通省建築着工統計速報による)

平成31年1月8日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成10年度計		193,353	87.7	69,856	84.2	15,778	80.6	7,774,450	83.8
平成11年度計		197,017	101.9	68,108	97.5	17,361	110.0	7,678,750	98.8
平成12年度計		194,481	98.7	70,808	104.0	15,305	88.2	7,846,050	102.2
平成13年度計		178,903	91.9	63,529	89.7	13,056	85.3	7,006,500	89.2
平成14年度計		171,031	95.6	61,468	96.8	10,958	83.9	6,694,700	95.5
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度	4月	11,874	109.5	4,352	122.3	194	93.3	444,900	121.5
	5月	11,219	93.4	4,356	93.2	176	44.3	444,400	91.2
	6月	12,357	102.6	4,795	105.2	188	98.4	488,900	105.1
	7月	11,571	104.5	4,341	111.0	216	248.3	444,900	112.5
	8月	11,473	96.6	4,595	92.8	196	408.3	469,300	94.3
	9月	11,651	99.0	4,409	100.2	176	97.8	449,700	100.2
	10月	11,600	101.9	4,103	102.1	246	215.8	422,600	103.7
	11月	11,591	102.3	4,527	109.0	258	396.9	465,600	111.2
	12月	10,151	94.6	3,652	89.6	127	73.0	371,550	89.3
	1月	9,468	85.5	3,960	92.8	118	92.2	401,900	92.8
	2月	10,083	97.5	3,695	92.4	681	144.9	403,550	95.3
	3月	9,990	102.1	3,916	115.4	212	194.5	402,200	116.7
年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度	4月	11,733	98.8	4,323	99.3	133	68.6	438,950	98.7
	5月	10,912	97.3	4,275	98.1	164	93.2	435,700	98.0
	6月	11,350	91.9	4,712	98.3	36	19.1	473,000	96.7
	7月	11,869	102.6	4,724	108.8	260	120.4	485,400	109.1
	8月	10,906	95.1	4,385	95.4	30	15.3	440,000	93.8
	9月	11,160	95.8	4,253	96.5	118	67.0	431,200	95.9
	10月	11,604	100.0	4,402	107.3	199	80.9	450,150	106.5
	11月	11,194	96.6	4,122	91.1	82	31.8	416,300	89.4
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
年度計		90,728	97.2	35,196	99.2	1,022	61.9	3,570,700	98.4

(単位) 面積 1,000m²
前年同期比 %(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 m² × 100kg
鉄骨鉄筋造 m² × 50kg

平成30年度主要会議日程表

H30.11.15 現在

☐ 土・日・祝日
☐ 夏期・年末年始休日
☐ 振替休日
☐ 休日出勤

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
4	1	2	3	4	5	6	7	10	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
5	8	9	10	11	12	13	14	11	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9
6	15	16	17	18	19	20	21	12	14	15	16	17	18	19	20	15	16	17	18	19	20
7	22	23	24	25	26	27	28	19	21	22	23	24	25	26	27	22	23	24	25	26	27
8	29	30						20	28	29	30	31				29	30	31			
9	1	2	3	4	5	6	7	11	1	2	3	4	5	6	11	2	3	4	5	6	7
10	8	9	10	11	12	13	14	18	10	11	12	13	14	15	18	10	11	12	13	14	15
11	15	16	17	18	19	20	21	25	17	18	19	20	21	22	25	17	18	19	20	21	22
12	22	23	24	25	26	27	28	26	24	25	26	27	28	29	30	26	27	28	29	30	31
13	29	30						27	27	28	29	30	31			28	29	30	31		
14	1	2	3	4	5	6	7	12	1	2	3	4	5	6	12	1	2	3	4	5	6
15	8	9	10	11	12	13	14	19	8	9	10	11	12	13	19	8	9	10	11	12	13
16	15	16	17	18	19	20	21	26	15	16	17	18	19	20	26	15	16	17	18	19	20
17	22	23	24	25	26	27	28	23	22	23	24	25	26	27	23	24	25	26	27	28	29
18	29	30						30	29	30	31				31	30	31				
19	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
20	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
23	29	30						29	30	31					31	30	31				
24	1	2	3	4	5	6	7	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
25	8	9	10	11	12	13	14	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
26	15	16	17	18	19	20	21	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
27	22	23	24	25	26	27	28	23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29
28	29	30						30	29	30	31				31	30	31				
29	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
30	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
31	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
	29	30						29	30	31					31	30	31				

開催年月日	時間	三役会	理事会	総会	全国理事会 事務局長会議	委員会	その他	備考
平成 30 年								
4 月 4 日 水	11:00 ~ 17:00	11:00			15:00 ※		17:00 懇親会	※事務局長会議(金沢)
4 月 6 日 金	15:00 ~ 19:00						17:00 懇親会	
5 月 9 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					17:00 懇親会	※総会招集決議
5 月 22 日 火	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00 ※				17:00 懇親会	14:00全株評価主総会
6 月 8 日 金	10:00 ~ 18:30	10:00	11:30	15:00		14:00 運営/技術		
6 月 15 日 金	14:00 ~ 17:00						16:00 三役・青年部会長等懇談	
7 月 4 日 水	12:00 ~ 19:30	12:00					17:00 懇親会	新理事会初回
7 月 12 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別		
7 月 13 日 金	9:30 ~ 12:00							
8 月 29 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					11:30 鉄骨審議会	
8 月 30 日 木	11:30 ~ 15:00							
9 月 11 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00						
9 月 20 日 木	10:00 ~ 17:00	10:00	12:00			9:30 特別	15:00 賛助会員懇談会	
9 月 21 日 金	9:30 ~ 12:00						13:00 青年部会各分会委員長交換会	
10 月 10 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						
11 月 7 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					17:30 懇親会	
11 月 15 日 木	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00			9:30 特別		
11 月 16 日 金	9:30 ~ 12:00							
12 月 14 日 金	14:00 ~ 19:30	14:00					18:00 事務局職員との懇親会	
1 月 18 日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	12:00		15:00 ※		16:30 賛助交歓会	※全国理事長会
2 月 13 日 水	12:00 ~ 15:00	12:00						
2 月 21 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別		
2 月 22 日 金	9:30 ~ 12:00							
3 月 13 日 水	14:30 ~ 17:00	14:30						
3 月 19 日 火	15:00 ~ 17:00	15:00						
3 月 20 日 水	10:00 ~ 17:00		10:00			13:00 特別		
平成 31 年								
1 月 18 日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	12:00					
2 月 13 日 水	12:00 ~ 15:00	12:00						
2 月 21 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00					
2 月 22 日 金	9:30 ~ 12:00							
3 月 13 日 水	14:30 ~ 17:00	14:30						
3 月 19 日 火	15:00 ~ 17:00	15:00						
3 月 20 日 水	10:00 ~ 17:00		10:00			13:00 特別		

開催年月日	時間	三役会	理事会	総会	全国理事会 事務局長会議	委員会	その他	備考
平成 30 年								
4 月 4 日 水	11:00 ~ 17:00	11:00			15:00 ※		17:00 懇親会	※事務局長会議(金沢)
4 月 6 日 金	15:00 ~ 19:00						17:00 懇親会	
5 月 9 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					17:00 懇親会	※総会招集決議
5 月 22 日 火	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00 ※				17:00 懇親会	14:00全株評価主総会
6 月 8 日 金	10:00 ~ 18:30	10:00	11:30	15:00		14:00 運営/技術		
6 月 15 日 金	14:00 ~ 17:00						16:00 三役・青年部会長等懇談	
7 月 4 日 水	12:00 ~ 19:30	12:00					17:00 懇親会	新理事会初回
7 月 12 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別		
7 月 13 日 金	9:30 ~ 12:00							
8 月 29 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					11:30 鉄骨審議会	
8 月 30 日 木	11:30 ~ 15:00							
9 月 11 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00						
9 月 20 日 木	10:00 ~ 17:00	10:00	12:00			9:30 特別	15:00 賛助会員懇談会	
9 月 21 日 金	9:30 ~ 12:00						13:00 青年部会各分会委員長交換会	
10 月 10 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						
11 月 7 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					17:30 懇親会	
11 月 15 日 木	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00			9:30 特別		
11 月 16 日 金	9:30 ~ 12:00							
12 月 14 日 金	14:00 ~ 19:30	14:00					18:00 事務局職員との懇親会	
1 月 18 日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	12:00		15:00 ※		16:30 賛助交歓会	※全国理事長会
2 月 13 日 水	12:00 ~ 15:00	12:00						
2 月 21 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別		
2 月 22 日 金	9:30 ~ 12:00							
3 月 13 日 水	14:30 ~ 17:00	14:30						
3 月 19 日 火	15:00 ~ 17:00	15:00						
3 月 20 日 水	10:00 ~ 17:00		10:00			13:00 特別		
平成 31 年								
1 月 18 日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	12:00					
2 月 13 日 水	12:00 ~ 15:00	12:00						
2 月 21 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00					
2 月 22 日 金	9:30 ~ 12:00							
3 月 13 日 水	14:30 ~ 17:00	14:30						
3 月 19 日 火	15:00 ~ 17:00	15:00						
3 月 20 日 水	10:00 ~ 17:00		10:00			13:00 特別		

開催年月日	時間	三役会	理事会	総会	全国理事会 事務局長会議	委員会	その他	備考
平成 30 年								
4 月 4 日 水	11:00 ~ 17:00	11:00			15:00 ※		17:00 懇親会	※事務局長会議(金沢)
4 月 6 日 金	15:00 ~ 19:00						17:00 懇親会	
5 月 9 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					17:00 懇親会	※総会招集決議
5 月 22 日 火	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00 ※				17:00 懇親会	14:00全株評価主総会
6 月 8 日 金	10:00 ~ 18:30	10:00	11:30	15:00		14:00 運営/技術		
6 月 15 日 金	14:00 ~ 17:00						16:00 三役・青年部会長等懇談	
7 月 4 日 水	12:00 ~ 19:30	12:00					17:00 懇親会	新理事会初回
7 月 12 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別		
7 月 13 日 金	9:30 ~ 12:00							
8 月 29 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					11:30 鉄骨審議会	
8 月 30 日 木	11:30 ~ 15:00							
9 月 11 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00						
9 月 20 日 木	10:00 ~ 17:00	10:00	12:00			9:30 特別	15:00 賛助会員懇談会	
9 月 21 日 金	9:30 ~ 12:00						13:00 青年部会各分会委員長交換会	
10 月 10 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						
11 月 7 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					17:30 懇親会	
11 月 15 日 木	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00			9:30 特別		
11 月 16 日 金	9:30 ~ 12:00							
12 月 14 日 金	14:00 ~ 19:30	14:00					18:00 事務局職員との懇親会	
1 月 18 日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	12:00		15:00 ※		16:30 賛助交歓会	※全国理事長会
2 月 13 日 水	12:00 ~ 15:00	12:00						

平成31(2019)年度主要会議日程表 [3次素案]

H31.1.17 現在

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	10	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
28	29	30					28	29	30	31			
5	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31		26	27	28	29	30	31	
6	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29
30							30						

1 三役会
 2 三役会
 3 三役会
 4 三役会
 5 三役会
 6 三役会
 7 三役会
 8 三役会
 9 三役会
 10 三役会
 11 三役会
 12 三役会
 13 三役会
 14 三役会
 15 三役会
 16 三役会
 17 三役会
 18 三役会
 19 三役会
 20 三役会
 21 三役会
 22 三役会
 23 三役会
 24 三役会
 25 三役会
 26 三役会
 27 三役会
 28 三役会
 29 三役会
 30 三役会
 31 三役会

開催年月日	時間	三役会	理事会	総会	全国理事会 事務局長会議	委員会	その他	備考
平成 31 年 4 月 5 日 金	12:00 ~ 18:00	12:00			15:00 ※		16:30 懇親会	※事務局長会議
5 月 10 日 金	14:00 ~ 17:00	14:00					17:30 懇親会	※総会招集決議
5 月 21 日 火	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00 ※			9:30 特別	1200-1400 全鉄評/取締役会	1200-1400 全鉄評/取締役会
5 月 22 日 水	9:30 ~ 12:00			15:00			17:00 懇親会	14:00 全鉄評株主総会
6 月 7 日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	11:30				17:30 懇親会	
7 月 3 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00				9:30 特別	17:30 懇親会	
7 月 11 日 金	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00				11:30 技・審議会	
8 月 28 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					17:30 懇親会	
8 月 29 日 木	11:30 ~ 14:00							
9 月 10 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00					17:30 懇親会	
9 月 19 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別	1200-1400 全鉄評/取締役会	
9 月 20 日 金	9:30 ~ 12:00							
10 月 16 日 水	14:00 ~ 17:00	14:30				9:30 特別	1200-1400 全鉄評/取締役会	
11 月 13 日 日	14:00 ~ 17:00	14:00						
11 月 21 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別	1200-1400 全鉄評/取締役会	
11 月 22 日 金	9:30 ~ 12:00							
12 月 12 日 木								
12 月 13 日 金	14:00 ~ 17:00	14:00					18:00 事務局職員との懇親会	
1 月 17 日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	12:00		15:00 ※		16:30 新年賀詞交歓会	※全国理事会長会
2 月 4 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00					17:30 懇親会	
2 月 13 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別		
2 月 14 日 金	9:30 ~ 12:00							
3 月 10 日 火	14:00 ~ 17:00	14:30					1200-1400 全鉄評/取締役会	
3 月 18 日 水	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別		
3 月 19 日 木	9:30 ~ 12:00							
3 月 月 日	~							

関連団体	その他	2020年度予定
【青年部会】 総会・全国大会：平成31年4月20日(土) 名古屋	○賛助会員懇談会 日程要検討 ○青年部会との意見交換会 日程要検討	2020年4月10日(金) 三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30) 2020年5月19日(火) 三役会(14:00) 2020年5月28日(木) 三役会(10:30) 理事会(14:00) 2020年6月17日(水) 三役会(9:00) 理事会(11:30) 懇親会(15:00) 懇親会(17:00) (参：全鉄評株主総会(14:00))

北海道支部(鉄骨部会)状況報告書 (平成30年11月)

作成日 平成30年12月10日

(A)

支部名	①鉄骨部会各支部の活動状況	②鉄骨部会活動状況
道 央	・11/5 三役会、役員会 ・11/13 臨時総会、例会 ・11/30 忘年会	
函 館		
室 苦 小 樽		
旭 川	・担当学会議(第2月曜日)	
北 見	・月例会議	
帯 広	・月例会	
釧 路	・12/5 忘年会	

(B)

支部名	① 手持ち工事量(ヶ月)			②稼働率 (%)	③ 見積物件数			④ 受注価格(千円)建方込・別		
	H	M	R・J・未		多い	同じ	少ない	S造 (込)	コラム (込)	SRC (別)
道 央	3~9	2~5	1~5	90~120	3	23	7	230~350	220~409	290~300
函 館	6	5	2~3	100	4	4	0	240~300	240~300	
室 苦 小 樽	2~4	1~4	1~2	100~110	1	9	1	200~340	220~340	
旭 川	7~8	3~4		120	0	0	7	250~270	260~280	
北 見		4以上		100~110	0	3	0	250~340	250~340	
帯 広	3~5	1~ 5以上	1~2	100~120	0	7	2	230~320	230~320	375~390
釧 路	7	4~6	12	100~120	1	3	1	250~330	250~360	

(C)

支 部 名	① 今後の景気動向と見通しについて	② 業界 に提案
道 央	・各社の山積状況：Hグレードは年内から来夏まで山積みが高い。MRJ未認定とも今後も良好の見込み。各社とも山積み調整に苦慮。 ・鋼材・ボルトの不足や人手不足で苦慮しているところが増えている。 ・共同積算：1-11月 117,108t、平年比 92%、前年比 69%	
函 館	・工場稼働率、山積み共に先月と変わりなし。 ・見積りは例年並み、受注価格も大きく変わりなし。	
室 苦 小 樽	・工場は先月と状況は変わらず。見積もりは多少落ち着いてきているが、概算見積りは多い。 ・相変わらず図面承認の遅延により、建方日も遅れている状況。	
旭 川	・9、10月とほぼ変わらず、同様の状況。	
北 見	・来年度の物件が具体化してきた。現状は建築確認、承認図の遅れにより停滞気味。	
帯 広	・フル稼働は継続中であるが、見積りが少なくなっている。	
釧 路	・各社共、多忙が継続中。HTBは、発注後3ヶ月経過しても納品が間に合わない状況。	

北海道支部(鉄骨部会) 状況報告書 (平成 30 年 12 月)

作成日 平成 31 年 1 月 7 日

(A)

支部名	①鉄骨部会各支部の活動状況	②鉄骨部会活動状況
道 央	・ 12/4 三役会、役員会	・ 12/12 役員会
函 館	・ 12/26 支部例会、経営者懇談会	
室 苦 小 樽		
旭 川	・ 担当者会議 (第 2 月曜日)	
北 見	・ 月例会議	
帯 広	・ 月例会	
釧 路	・ 12/5 忘年会	

(B)

支部名	① 手持ち工事量(ヶ月)			②稼働率 (%)	③ 見積物件数			④ 受注価格(千円) 建方込・別		
	H	M	R・J・未		多い	同じ	少ない	S 造 (込)	コラム (込)	SRC (別)
道 央	3~9	2~5	1~7	90~110	2	21	10	230~320	220~350	
函 館	4	4	2~3	100	4	4	0	250~300	250~300	
室 苦 小 樽	3~4	1~4	2~3	100~110	3	8	0	200~340	220~340	
旭 川	7~8	3~4		130	0	0	7	250~270	260~280	
北 見		3~ 4 以上		50~100	0	3	0	250~340	250~340	
帯 広	3~5	1~ 5 以上	1~3	100~120	0	6	3	230~320	230~320	
釧 路	7	3~6	12	80~100	0	3	2	250~330	250~360	

(C)

支 部 名	① 今後の景気動向と見通しについて	② 業界 に提案
道 央	- 各社の山積状況：H グレードは年内から来秋頃まで山積みが高い。MRJ 未認定とも今後も良好の見込み。各社とも多忙のため山積み調整に苦慮している。 - 鋼材値上げやボルトの不足で苦慮しているところが多い。 - 共同積算：1-12 月 126,970 t、平年比 92%、前年比 70%	
函 館	- 工場稼働率は変わらず高い水準で推移している。 - 山積みは多いところで 5 月位迄、他会員も冬期間 (3 月位迄) は確保している様だが、一部で副資材 (HTB) の入手に苦慮、現場工程にも影響しているとの声もある。 - 見積りは例年並みで、受注価格も大きく変わりなし。	
室 苦 小 樽	- 工場は先月と状況は変わらず。見積もりは多くなってきているが、概算見積りも多い。 - 相変わらず図面承認の遅延により、建方日も遅れている状況。 - HTB の納期も遅れがちになってきており (物件によっては 4.5~5 ヶ月) 見積り時点で慎重に対応しなければならない。	
旭 川	・ 11 月と状況は変わらず、年明け以降の新規見積りに期待。	
北 見	・ 来年度の物件が具体化してきた。承認図、確認の遅れで混乱した 1 年であった。	
帯 広	・ 年明けも各社手持ち工事量が多いが、例年より見積り件数は少ない。	
釧 路	・ 各社、100%以上の稼働率が継続中。2019 年の見積もりが出始めてきた。	

<東 北>支部 平成 30 年 11 月期状況報告

提出日 平成 30 年 12 月 3 日

(A)

① 全構協推進事業の現況		② 支部の活動状況
県 名	現 況 要 旨	活 動 要 旨
青森県	◇11/15 青年部 幹事会 (弘前) ◇11/22 積算業務担当者会議	◇11/9 東北積算業務委員会四国支部との交流会 (愛媛 松山) ◇11/29～30 NDI・UT レベル 1 実技講習会 (宮城 多賀城)
岩手県	◇11/1 青年部役員会 ◇11/7 建設業 4 団体青年部交流会 ◇11/11～13 盛岡支部島根視察研修 ◇11/14 県南支部会 ◇11/19 盛岡支部会	
宮城県	◇11/6 営業担当者会議・役員会 ◇11/16 青年部会工場見学 ◇11/22 仙南支部会	
秋田県	◇11/16 営業担当者会議	
山形県	11/1 三役会、役員及び庄内支部会員合同会議 11/17 超音波探傷技術研究会 探傷器の定期点検 11/22 三役会、役員及び新庄・村山支部会員合同会議	
福島県	◇11/17 船山顧問旭日双光章受章祝賀会 ◇11/21 第 4 回理事会 ◇11/22 青年部国会議事堂見学会・忘年会	

(B)

①手持工事量		②稼働率	③見積件数			④受注価格 (単位: 千円、SRC は建方別)		
県 名	手持工事量	稼働率	多い	普通	少ない	⑤工場加工費 (図面、原寸、塗装含みの工場オントラックまで)		
						S 造	SRC	コラム
青森県	1～10 ヶ月	90～120%			○	210～250		200～250
						60～80		60～85
岩手県	1～8 ヶ月	70～120%		○		170～250		170～250
						60～120		60～120
宮城県	2～13 ヶ月	90～130%			○	210～260		220～250
						75～110		70～110
秋田県	1～9 ヶ月	90～130%			○	220～220		220～220
						60～85		60～80
山形県	1～7 ヶ月	80～120%			○	210～240		210～240
						65～120		65～120
福島県	1～7 ヶ月	80～120%		○		210～280		200～280
						60～120		60～120

(C)

①今後の景気動向と見通しについて		②業界対策 (意見～提案)	
県 名	見 通 し	県 名	意見～提案
青森県	手持工事量・工場稼働率は例月どおり好調に推移しており、稼働率は平均 100%超えとなった。しかし、見積依頼物件数は減少傾向が続いており、鋼材入手難に苦慮している工場が多い。	青森県	
岩手県	見積依頼数、手持工事量、受注価格、加工費ともに横ばい。鋼材・資材、現場鍛冶、炭、トラック等様々な『不足』が継続している。	岩手県	
宮城県	手持工事量・稼働率は高水準を維持している。価格も前月より上昇している。見積時に材料の納期の確認が必要である。	宮城県	
秋田県	手持ち工事量、稼働率、価格に大きな変動はないが、物件数が少ない。今後の仕事量確保が心配される。	秋田県	
山形県	県内物件数は相変わらず少なく、前月より大幅に減少した。これから冬場をむかえるのに厳しい状況である。	山形県	
福島県	稼働率は先月に引き続き高水準。見積依頼数が少ないとの回答が 10%増。材料入手難が続く、先行き不透明。	福島県	

＜東 北＞支部 平成 30 年 12 月期状況報告

提出日 平成 31 年 1 月 4 日

(A)

① 全構協推進事業の現況		② 支部の活動状況
県 名	現 況 要 旨	活 動 要 旨
青森県	◇12/14 積算業務担当者会議	◇12/4 東北積算業務委員会（仙台） ◇12/6 12 月期役員会（盛岡）
岩手県	◇12/5 県南支部会 ◇12/13 理事会・役員と賛助会員の懇談会 ◇12/18 知事への要望活動 ◇12/19 盛岡支部会	
宮城県		
秋田県		
山形県	◇12/5 営業実務者会議 青年部役員会	
福島県	◇12/12 第 4 回営業責任者会議 ◇12/20 郡山支部忘年会	

(B)

①手持工事量		②稼働率	③見積件数			④受注価格（単位：千円、SRC は建方別）		
県 名	手持工事量	稼働率	多い	普通	少ない	⑤工場加工費（図面、原寸、塗装含みの工場オントラックまで）		
						S 造	S R C	コラム
青森県	1～12 ヶ月	80～120%		○		200～250		200～250
						60～80		60～80
岩手県	1～10 ヶ月	80～100%			○	170～250		170～250
						60～120		60～120
宮城県	2～13 ヶ月	100～130%		○		210～250		210～250
						55～120		70～105
秋田県	1～9 ヶ月	70～110%		○		～		220～220
						65～90		60～80
山形県	1～5 ヶ月	80～120%		○		200～250		200～250
						65～110		65～110
福島県	1～7 ヶ月	80～120%		○		210～290		210～300
						60～130		60～130

(C)

①今後の景気動向と見通しについて		②業界対策（意見～提案）	
県 名	見 通 し	県 名	意見～提案
青森県	手持工事量・稼働率ともに例月どおり高水準を維持。受注価格や加工費については大きな変化はないが、鋼材入手難が続く中、減少傾向が続いていた見積依頼数が 3 ヶ月ぶりに増加した。	青森県	
岩手県	手持工事量が増加する中、受注価格、加工費ともに横ばい。見積依頼数が再び減少に転じた。県内大型物件工事が進んでおり、トラックの手配に支障を来している。	岩手県	
宮城県	手持工事量・稼働率は高い水準を維持している。オリンピック関連も含め来年も多忙と思われるが鋼材の品不足が発生しており、動向を注視したい。	宮城県	
秋田県	受注単価は益々厳しい状況。受注件数も減少しており、年明け以降の仕事量確保に不安が残る。	秋田県	
山形県	県内見積物件数は前月よりやや増ではあるが、昨年同月とくらべると 50%の減である。見通し不透明	山形県	
福島県	各グレード共、来年も稼働率・手持ち工事量は十分確保できる様子。材料の納期は一段と不透明な状況になり、見積すら断るケースもあり。設計図面の不備が多く材料手配も困難な状況が、多く見られる。	福島県	

関東支部【状況報告書】										
(平成30年11月分)										
提出日 平成31年1月8日										
(A)										
都県名	① 各県組合の活動状況						② 支部の活動状況 (要旨)			
東京	8日～9日関東H協全員協議会(群馬県)、27日M会、理事会						1. 支部 会議 開催状況			
千葉	11/2三役会・40周年実行委員会11/3固形エンドタブ11/9県土整備部意見交換会、青年部研修11/1640周年記念事業11/20蹴球会11/22関東支部女子研修会						11/22 関東支部女子研修会 開催			
神奈川	11月11日(土)合同支部会を箱根湯本温泉において開催した。11月21日にMグレード部会開催。									
茨城	7日第3回鐵構茨城オープン、16日水戸市長出版記念、18～20日ベトナム送出国協定・CADエンジニア視察									
埼玉	7日(一社)埼玉県トラック協会との意見交換会、総務委員会、13日理事会、14日県庁オープンデーに出席、28日第33回STK会									
栃木	11/6 技術委員会、11/6 事業継承講習会、11/14 定例理事会、11/17 青年部4県合同交流会、11/21 田中先生を囲む会、11/22 工業会ゴルフコンペ、11/29 3支部合同支部会						2. 会議予定			
群馬	11/8青年部全員協議会開催 11/20品質適正化協議会講習会開催 11/29正副理事長会議・役員会開催						12/18 第4回関東支部会 開催予定			
長野	11/13:運営委員会、11/17・18:UT実技講習会、11/21:常任理事会、11/28:技術委員会及び性能評価研修会、11/29:青年部役員会									
山梨	<会議等>8日:理事会 22日:青年部会 26日:経営近代化委員会 27日:溶接安全委員会 29日:教育技術委員会 <教育等>3日:Ston未熟クレーン運転特別教育(～4日) 20日:NDT-UT実技試験準備講習(～21日) 24日:アーク溶接特別教育(～25日) 29日:ガス溶接技能講習(～30日) <その他>11日:ゴルフ親睦会 14日:認定職業訓練監査 17日:溶接技能者評価試験 28日:東部地区溶接協会連絡会									
新潟	11/02 新潟支部 意見交換会、11/07 建専連 新潟市建設部との意見交換会 11/08～10 鉄骨超音波検査技術者 実技講習会(8名)、11/13 AW検定の説明会 11/15 第2回正副理事長会議、11/22 第4回出張理事会(上越支部) 11/28・29 鉄骨製品検査技術者 実技講習会(13名) 11/30・12/1 鉄骨製品検査技術者 実技講習会(14名)									
(B)										
都県名	① 手持工事量 (ヶ月)			② 稼働率%	③ 見積物件数 (Mグレード)			④ 受注価格 (単位:千円/トン) 「建方別」		
	Rグレード	Mグレード	Hグレード		多い	普通	少ない	S造 (H+H)	コラム (コラム+H)	SRC
東京	3～4	4～6	12	100		○		210～300	230～350	—
千葉	—	3～10	3.0	90～100		○		210～255	185～255	—
神奈川	4.0	4.0	9.3	89～93		○		182～285	176～295	283～322
茨城	2～3	3～6	6～9	80～120		○		170～230	170～230	200～240
埼玉	3.6	5.6	7.6	91.2～98.0		○		217～249	212～261	—
栃木	3～4	2～8	6～12	90～120	○			180～245	190～255	—
群馬	3	4～8	7～10	90～110		○		180～270	180～280	—
長野	4	2～7	6～11	90～120		○		155～255	165～270	—
山梨	2～3	1～8	10～15	80～100			○	170～260	175～290	230～270
新潟	4	4	10	100		○		195～225	195～225	
(C)										
都県名	① 景気の見通し・業界対策に関する意見・提案									
東京	鉄骨の1節の建ち上がり短縮されて非常に短くなってきている。これは発注者側から見ればコスト削減で大変良いことであるが、FAB側から見れば時間外労働の増大、納期がタイトになる等様々な問題が起きている。業界としてゼネコン業界団体に余裕のある工期を組むように申し入れを積極的に行うべきである。									
千葉	毎月のボルト不足が深刻。トラックの手配もタイト。年明けH鋼SS400ベースK/100円台、見積に注意しなくてはならない。									
神奈川	ボルト、嵩、トラック等の確保が難しく現場工事での赤字リスクを抱えている。									
茨城	外国人労働者受入拡大法案は、大企業へのサプライヤーの労働単価を抑えるためであり、人材不足を訴える中小企業の為の施策ではないと思う。ただ、外国人技能実習生受け入れて、ファブの企業力や課題等々隠れていたものが見えてくることもある。									
埼玉	11月14日埼玉県民の日に毎年県庁で開催される「県庁オープンデー」に当組合が初めて出展し「鉄骨ガールと工場見学」のDVD上映とその配布、並びに組合員が製作した特徴ある鉄骨建築物のパネルなどを展示して業界のPRを行った。当日、アンケートも実施したが我々の業界認知度はほとんどなかった。尚、当日1万2千人の来場者であった。									
栃木	・HTBの納期問題 ・施工図チェック遅れ ・溶接工、嵩、輸送車両の不足。									
群馬	引き続き、鋼材・ボルト納期が長期化しており、工場製作・現場工事に影響が出ている									
長野	忙しい。地元物件はあまりない。関東の仕事も多く手掛け商社の仕事も多くなっている。単価はあがってこない。									
山梨	材料、資材の入手が困難									
新潟	全グレードにおいて高稼働率を維持している。ただ、材料価格の上昇により、一部では順調な売上げの割には利益幅が小さくなってきているとの情報がある。加えて、材料・ボルトの納期が大幅に遅延しており、工程管理を含めた工場運営に苦慮している組合員が多い。									

関東支部【状況報告書】										
(平成30年12月分)										
提出日 平成31年1月8日										
(A)										
都県名	① 各県組合の活動状況							② 支部の活動状況 (要旨)		
東京	4日 全国M部会固形タブ合否判定会、5日 関東支部運営委員会、11日 理事会 協力会と懇談会 IoT講習会 (東京中央会助成) 18日 関東支部会、20日～21日工場審査サポート (秋田県能代市)							1. 支部 会議 開催状況 12/18 第4回関東支部会 開催		
千葉	1/6三役支部長会・理事会12/12北部支部会									
神奈川	青年部 (12/15)やRJNグレード部会(12/22)の研修会・忘年会が開催された。									
茨城	7日第5回理事会、8・9日UT実技講習会、12日建築関連団体交流会、14日県労働政策課外国人労働者に関するヒアリング調査、15日東関東非破壊検査研究会忘年研修会、20日県産連事務局長会議、その他実習生監査アーク特別講習など									
埼玉	5日総務委員会、12日理事会・労務委員会、18日青年部役員会、19日技術委員会									
栃木	12/5 2支部合同支部会、12/13 定例理事会、12/14 青年部全体会議・ボウリング・忘年会、12/29理事忘年会									
群馬	1月に開催する品質技術サポートの募集							2. 会議予定 2/13 第5回関東支部会 開催予定		
長野	12/8・9: UT実技講習会									
山梨	〈会議等〉7日:理事会 22日:青年部会 〈教育等〉アーク溶接特別教育 (5高校) 〈その他〉8日:溶接技能者評価試験 10日:労働災害防止団体連絡会 15日:30度開先積層図実験 15日:忘年会									
新潟	12/06 第4回関東支部運営委員会、12/12 青年部 工場視察研修・忘年会 12/14 女性部 講演会、12/18 第4回関東支部会、12/19 第5回総務委員会 12/06 グレード工場審査 (1工場)、12/25 工場審査サポート (1工場)									
(B)										
都県名	① 手持工事量 (ヶ月)			② 稼働率%	③ 見積物件数 (Mグレード)			④ 受注価格 (単位: 千円/トン) 「建方別」		
	Rグレード	Mグレード	Hグレード		多い	普通	少ない	S造 (H+H)	コラム (コラム+H)	SRC
東京	2～3	4～6	12	100		○		210～280	230～350	—
千葉	—	3.5～6	3.0	80～100		○		220～285	195～300	—
神奈川	3.5	3.7	8.6	85～96		○		161～290	180～300	288～331
茨城	2～3	3～6	6～9	80～100		○		170～230	170～230	200～240
埼玉	2.8	5.5	8.5	91.7～96.3		○		224～258	229～269	—
栃木	3～4	3～8	6～12	90～120		○		200～245	205～255	—
群馬	2～5	5～7	7～14	85～120		○		180～285	185～285	—
長野	7	0～8	7～10	10～120			○	133～240	130～270	—
山梨	2～3	1～10	10～15	80～120			○	190～300	195～320	235～260
新潟	4	5	10	95～100		○		180～215	205～220	—
(C)										
都県名	① 景気の見通し・業界対策に関する意見・提案									
東京	南海トラフ巨大地震等広域的な大規模災害を想定して、災害相互支援体制を早急に構築する必要がある。全国的横断組織である全構協の本来な役割である。									
千葉	相変わらずコラム・HTBの調達が困難な為 (納期が5～6ヶ月) 工事が延期になるなど仕事量が減少。納期が遅くなっていることからS造～RS造になる為困っている。									
神奈川	ボルト不足もあるが、来年は米中貿易戦争の本格化など外的要因による景気悪化が懸念される。									
茨城	人材の確保育成は企業の生命線ですので、鉄骨技術者教育センターの事業大いに期待します。									
埼玉	この一年、鉄骨業界のPRのためイベントに出展するなどいくつかの施策を実施してきた。今般、今はやりのYouTubeを活用しPRを開始した。その名もずばり”鉄女 in SAITAMA”。興味のある方は当組合ホームページのトピックスをクリックしてみてください。									
栃木	・HTBの納期問題 ・施工図チェック遅れ ・溶接工、磨、輸送車両の不足。									
群馬	引き続き、鋼材・ボルト納期が長期化しており、工場製作・現場工事に影響が出ている									
長野	持ち量はほどほどにあるようで忙しそうであるが、忙しいわりに利益幅が伸びない声を聞く。									
山梨	県外の仕事に依存する傾向は変わらず。鋼材・副資材の価格が高止まりに加え入手が困難な状況である。									
新潟	全グレードにおいて高稼働率を維持しているが、材料価格や輸送単価の上昇により、利益幅が小さくなってきている。材料・ボルトの納期が大幅に遅延しており、常態化している工期ずれの影響もあって、工程管理を含めた工場運営に苦慮している組合員が多い。									

《 北陸 》 支部 状況報告

(平成30年11月分)

(A)

提出日：平成31年1月9日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
県名	活動要旨	活動要旨
富山県	11/2 青年部会・技術研修会 11/6 組合創立50周年式典・祝賀会	11/15 全構協・第6回理事会(東京) 11/16 全構協・品質管理委員会(東京) 11/21 全構協・第3回運営委員会(東京)
石川県	11/6 青年中央会白山車両基地見学会 11/14 ・CAD&BIMの勉強会 ・第5回青年部役員会 ・建設業従業員石川県知事表彰式	
福井県	11/5 UTLレベル1実技講習会(～11/12) 11/7 県中央会 レディス中央会研修会 11/8 県鉄工連合会 第36回鉄工まつり 11/10 県鋼材販売事業(協)との合同親善ゴルフ 11/15 定例三役会、定例理事会 11/22 鉄工技術勉強会、認定部会役員会、青年部会例会	

(B)

※ ④富山県は、本体の加工費のみ・オントラ渡しとする

県名	①手持工事量 (ヶ月)	②稼働率 (%)	③見積物件数			④受注価格(単位:千円) 建方:含む		
			多い	普通	少ない	S造	SRC造	コラム
富山県	2～9	90～100	○			～	～	70～110
石川県	4～10	90～100		○		190～250	～	200～250
福井県	3～8	80～120		○		180～260	～	190～260

(C)

①今後の景気動向と見通しについて ②業界対策	
県名	見通し・意見・提案
富山県	ファブは需要の旺盛な関東物件や地場物件も多くフル稼働の状態が続いている。相変わらずの図面承認の遅延、鋼材やHTB納期の長期化、運送費など、問題は沢山あり解決されていないが、需要はそれなりに出ており、鉄骨価格は強基調で続くと思われる。
石川県	地域差はあるが、Rグレードは来年3月頃、Mグレードは来年5月頃まで、Hグレードは来年夏～秋までの山積み確保。工程ずれがひどいためか、余裕を持った受注をしている様子。図面決定の遅延、鋼材・副資材・運搬の手配難は相変わらずで、人材不足が見受けられる。
福井県	鋼材と高力ボルト需給ひっ迫は解消されておらず一層厳しい状況にあるものの、地場ゼネコンの状況理解も緩やかに進んでいて、要望書の効果と考えられる。年度内発注予定の県内公共工事は、入札不調も見られる中、厳しい納期を迫られる物件も出てくるのが懸念され、なお予断を許さない。各組合員とも運送トラックの手配に苦慮している。抱える課題解消の為に、組合員同士の情報交換と仕事の協力体制がなお一層必要になるものと予測される。

《 北陸 》 支部 状況報告

(平成 30 年 12 月分)

(A)

提出日：平成 31 年 1 月 9 日

①全構協進事業の現状		②支部活動状況
県名	活動要旨	活動要旨
富山県	12/4 第5回正副理事長会・第3回理事会 12/13 忠考会 12/23 青年部会クリスマス会	
石川県	12/11 第6回三役会、第6回理事会、忘年会 12/15 JSCAとの勉強会、JSCA石川との忘年会 12/21 青年部忘年会	
福井県	12/13 定例三役会、定例役員会 12/17 県建築業団体連合会役員交流会 12/15 青年部会例会 12/21 認定部会役員会、例会	

(B)

※ ④富山県は、本体の加工費のみ・オントラ渡しとする

県名	①手持工事量 (ヶ月)	②稼働率 (%)	③見積物件数			④受注価格(単位:千円)建方:含む		
			多い	普通	少ない	S 造	SRC造	コラム
富山県	3 ~ 11	90 ~ 110	○			~	~	80 ~ 110
石川県	3 ~ 10	80 ~ 100		○		200 ~ 250	~	200 ~ 250
福井県	3 ~ 8	80 ~ 120		○		180 ~ 260	~	190 ~ 260

(C)

①今後の景気動向と見通しについて ②業界対策	
県名	見通し・意見・提案
富山県	相変わらず忙しい状態が続いている。今後地場物件の計画が沢山あり、長期発注の首都圏物件との調整が難しい。好調な仕事量ではあるが、工期ずれによる生産調整、運転手不足による輸送問題、鋼材や高力ボルト等の納期の長期化による生産性の低下と諸経費の増大が問題である。
石川県	前月同様で地域差はあるが、Rグレードは春先まで、Mグレードは5月頃まで、Hグレードは今夏～秋までの山積みを確認し、受注単価は良い状況。図面決定の遅延、鋼材・副資材・運搬の手配難は相変わらずで、どの企業も従業員の採用難をかかえている。
福井県	ボルト入手不足と現場要員不足は依然解消しておらず、GCからの来年工事予約に対しても受注引受けを逡巡するケースも相次いでいる。同時にトラック手配に苦慮する状況が続いている。働き方改革の風が吹き荒れる中、鉄構業界の枠に留まらず建設建築業界全体での問題と捉えて、今後の対応策を縦断的横断的な組織で知恵を出し合っていくことが必要と考えられる。

< 中 部 > 支 部 状 況 報 告

(平成 30 年 11 月分)

提出日 平成 31 年 1 月 9 日

(A)

(A) ①全構協推進事業の現状			②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等
愛知県	13 日 (火) 技術委員会 20 日 (火) 運営委員会 21 日 (水) H部会 21 日 (水) 建築士事務所協会:理事会 出席		15 日 (木) 全構協:理事会 出席
静岡県	28 日 (水) 役員会		
三重県	・平成30年度後期性能評価サポート 実施 ・京都府理事との交流会・意見交換会 実施		
岐阜県	12 日 (月) 岐阜支部会 14 日 (水) 西濃支部会 14 日 (水) 中濃支部会 21 日 (水) 東濃支部会 21 日 (水) 理事会 22 日 (木) 飛騨支部会		

(B)

①手持工事量(ヶ月)		②稼働率(%)	③見積物件数			④受注価格(単位:千円) < 建方 = 含む >		
都道府県	手持工事量	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造	コラム造	SRC造
愛知県	3 ~ 12	90 ~ 130		○		200 ~ 280	210 ~ 300	—
静岡県	3 ~ 12	80 ~ 130		○		210 ~ 290	180 ~ 275	—
三重県	3 ~ 18	90 ~ 100		○		190 ~ 250	200 ~ 300	—
岐阜県	2 ~ 6	90 ~ 150	○	○		~	195 ~ 240	—

(C)

①今後の景気動向と見通しについて		②業界対策(意見～提案)
都道府県	見 通 し	意 見 ～ 提 案
愛知県	・工程遅延による損失を嘆く組合員が多くなってきた。 ・鋼材&副資材の確保や人材確保で薄水を踏む思いの状態が続いている。	・繁忙状態を乗り越える為の仲間づくりの場の継続提供が重要だ。
静岡県	各社の山積み状況は堅調に推移しているものの、相変わらず鋼材の供給不足、施工図の決定遅れや工事そのものの遅延、搬送車両の不足、現場施工人員の不足等の問題が継続しており、製造工程及び現場施工の混乱を生んでいる。 その事が、各社の収益を圧迫し始めており、非常に深刻な状況になっている。	業界の人材不足は、「働き方改革」の掛け声が掻き消えてしまうほど深刻な問題。「働き方改革」の為には、各社の自社努力だけでは難しく、建設業界の就労習慣の改革が必須と思われる。 鋼材の供給不足等については、元請側に深刻さを理解してもらえない。組合等でも全国規模で動いて欲しい。
三重県	見積り数の減少という意見が、半数以上の支部から寄せられたが、それが仕事量の減少に直接結びつくとは思えない。来夏までは、全支部忙しく推移する様に思われる。受注価格も安定しており、この傾向が続くそう。	鋼材、ボルト等の入手難により、鉄骨造自体が見直される状況にならない様、メーカーへの働きかけが必要では？
岐阜県	・加工単価は9万以上の高い水準。 ・コラム、ボルトの入手が困難な状況は相変わらずで各社苦勞しているようです。 ・材料の入りが悪く、それに伴い工期がずれる傾向が多々ある。 ・図面承認の遅れと変わらぬ建方納期等、バタバタな状態。	・NDIの新規や資格更新の書類で書類不備で指摘される事案があった。 ・鋼材の納期に係る情報提供について、他社の在庫確認等により連携して対応できればいいのだが、各社の状況で異なるため、なかなか難しいとの意見もあった。

< 中 部 > 支 部 状 況 報 告

(平成 30 年 12 月分)

提出日 平成 31 年 1 月 10 日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等
愛知県	7 日(金) 名古屋北支部会 11 日(火) 技術委員会 青年部会 20 日(木) 建築士事務所協会:臨時理事会 出席 26 日(水) 東三河支部会	15 日(土) 青年部:中部BC会議
静岡県	19 日(水) 役員会	
三重県	・理事会終了後、当県の賛助会会員(共済事業担当各社を含む)との意見交換会を実施	
岐阜県	11 日(火) 岐阜支部会 西濃支部会 14 日(金) 中濃支部会 東濃支部会	

(B)

①持施工事量(ヶ月)		②稼働率(%)	③見積物件数			④受注価格(単位:千円) < 建方 = 含む >		
都道府県	持施工事量	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造	コラム造	SRC造
愛知県	3 ~ 12	90 ~ 130		○		200 ~ 280	210 ~ 300	—
静岡県	2 ~ 11	80 ~ 120		○		220 ~ 290	190 ~ 275	—
三重県	3 ~ 18	90 ~ 100		○		200 ~ 250	210 ~ 280	—
岐阜県	0 ~ 9	0 ~ 150	○	○		~	190 ~ 270	—

(C)

①今後の景気動向と見通しについて		②業界対策(意見～提案)
都道府県	見 通 し	意 見 ～ 提 案
愛知県	・高力ボルトの需給ひっ迫感は続いているが、小規模物件では何とか乗り越えている様子である。 ・組合員の山積み状態は潤沢である。 ・従来の製作の協力体制の維持が難しくなってきた。	・この堅調時期にこそ「安定経営基盤」を盤石にしたいものだ。 ・中小ファブに入職者が集まる智慧を出し合わねばならない。 ・多忙時に法令順守が疎ろになる同じ轍を踏んではならない。
静岡県	相変わらず高力ボルトを含めた鋼材の供給不足、施工図の決定遅れ、工事そのものの遅延、搬送車両の不足、現場施工人員の不足、材料の置き場の確保、一次加工も時間がかかる等の諸問題が継続しており、各工場の製造工程と現場施工工程に混乱が生じている。その事は、各社の収益へも少なからず影響しているものと推察される。	今後、「働き方改革法案」に基づく労働時間管理、労働条件等に関する施策が、来年度から順次実施される。 経過処置はあるとはいえ、組合員の殆どを占める中小企業にも適用される内容については、その対応を迫られることになる。 その対応の為には、各社の合理性に基づく受注判断と、外的要因に対抗する為の協力関係が益々重要な鍵になる。
三重県	前月同様	前月同様
岐阜県	・高力ボルトの入手において深刻な状況。見積りすらできない。 ・今後も忙しい状況が続く。 ・鋼材、ボルト等の入手困難な状況が続いているので、各社対応に苦慮している。春頃には落ち着くのではないかと。 ・ボルトの入手が厳しい様で、約半年先のこととなると、仕事の発注のタイミングが難しい。	・ボルト手配について各社苦労はしているが、何とか対応しているようでした。 ・設計事務所やゼネコンから納期の問い合わせが最近よくある。

近畿支部状況報告

(平成30年11月分)

提出日：平成30年12月5日

(A)

府県名	① 全構協推進事業の現状 現 況 要 旨	② 支部活動状況 活 動 要 旨
滋賀県	・11/14 認定工場部会	・11/6 共済推進会議 ・11/15 全構協 第6回 理事会 ・11/17 近畿支部事務局全体会議 ・11/21 全構協 第3回 運営委員会
京都府	・11/15 運営委員会 ・11/29 三重県組合との交流会	
大阪府	・11/7 運営共済事業委員会 ・11/9～10 技術委員会見学会	
	・11/14 工場パトロール ・11/16 技術委員会	
	・11/21 市内支部会 ・11/29 北支部会	
兵庫県	・11/9 三役会 ・11/9 理事役員会 ・11/29 運営委員会	
奈良県	・11/13 第6回三役会・第5回理事会 ・11/19 南和支部工場視察	
	・11/26 中北和・南和支部工場視察	
和歌山県	・11/22 和歌山県溶接協会協議	

(B)

府県名	手持ち工事量 (何ヶ月分)	稼働率 (%)	見積物件数			受注価格(単位：千円) 建方=含む・含まず		
			多い	普通	少ない	S造	SRC造	コラム
滋賀県	3～12	70～100		○		190～270	～	195～240
京都府	2～8	90～100		○		190～250	～	190～270
大阪府	3～5	80～100		○		180～220	190～240	190～230
兵庫県	4～7	90～100		○		180～230	～	180～230
奈良県	1～8	80～120	○			190～280	～	190～280
和歌山県	5～12	80～100		○		190～230	190～230	190～230

(C)

府県名	① 今後の景気動向と見通しについて	② 業界対策(意見～提案)
滋賀県	各グレードとも山積みは高い傾向が続くが鋼材入荷の遅れも有り建て方期日が延長される事例も多くみられる。HTB 入荷も同様で加工後の出荷が出来ない事から工場加工への影響や置場確保の問題なども出ている。	HTB 一時的な外材利用の促進など
京都府	仕事量は各グレードによって違いがあるものの、年末にかけて忙しくしている。今後春先位まで続く見通し。2025年に大阪万博が決定、景気後退時期が先送りに成りそうな明るい話題です。受注残が6～7ヶ月有るので当面の仕事量は心配無いが鋼材、ボルトの納期長期化が深刻又見積り合が減少。一時的な現象で有れば良いが。	資材単価高騰が進んでいて材料調達に苦戦。今後の繁忙期にての人手の確保。鋼材、ボルトの入手難に加え、現場ビ、溶接工、トラック、あらゆる物が不足、高騰、あまり受注価格上昇と納期の長期化は良く無い。S造から他の構造に変更される事が懸念される。しばらく受注は控える。
大阪府	現在も各社は忙しくしてる。来年1月頃までの仕事量についても80～100%確保している。来年前半までのみ通しは明るいと思う。	外国人労働者は益々増加していき人手不足は一旦解消するかもしれない。が工場の次の担い手は、そして技術・技能はどうなっていくのか...
兵庫県	各グレード共に忙しそうである。当分この状況が続くものと思われる。材料の一次加工の納期が掛かり入荷待ち状態で工場加工日程に影響が出ている。	相変わらず高力ボルトの入手難が続いており、仕事受注前に納期を慎重に確認することが肝要。溶接工不足が深刻な状況。
奈良県	仕事量は、向こう3～4ヶ月確保出来、忙しい日々が続きます。ボルトが無い。まだまだ多いが、H31.6月以降から少なくなる気がする。来年の春にかけて忙しいです。仕事量は多く消費増税への駆け込み受注まで続きそうである。	HTBの納入困難。一次加工の納期がかなり掛かっているのに注意して行かなければならない。人材確保、育成(教育)HTBの入荷遅れによる景気への水を差すのではと懸念します。
和歌山県	資材関連でボルトだけでなく小径ワム、ブライズ、ダイヤ、溶接ワイヤに至るまで品薄状態と言われている。全て先行発注が必要となっている。	材種・品種が多すぎて、メーカーの供給力も限界と思う。ボルト10ミレツ化、裏ワイヤ禁止化等制限が必要。

近畿支部状況報告

(平成30年12月分)

提出日：平成31年1月9日

(A)

府県名	① 全構協推進事業の現状 現 況 要 旨	② 支部活動状況 活 動 要 旨
滋賀県	・12/10 理事会 ・12/13 県立愛知高校進学ガイダンス講演	・12/5 全構協 第4回近畿支部会 ・12/5 第1回 近畿支部 鉄構交流会 ・12/6 近畿支部鉄構交流会ゴルフコンペ
京都府	・12/1 近畿青年部役員会 ・12/18 12月度理事会 ・R会忘年会 ・12/17 溶接競技会主催者会議 ・12/25 京都西支部会	
大阪府	・12/12 定例理事会 ・12/14 東支部会、南支部会 ・12/19 工場バトル	
兵庫県	・12/21 三役会	
奈良県	・12/4 平成30年度臨時総会 ・12/20 技能フェスティバル委員会	
和歌山県	・12/3 近代委員会(溶接検定の現状講和・共済推進「塗料」) 近代化委員会忘年会 ・12/7.8 青年部意見交換会	

(B)

府県名	手持ち工事量 (何ヶ月分)	稼働率 (%)	見積物件数			受注価格(単位：千円) 建方=含む・含まず		
			多い	普通	少ない	S造	SRC造	コラム
滋賀県	4～12	70～100		○		195～270	～	195～230
京都府	2～5	90～100		○		190～230	～	180～240
大阪府	3～5	80～100		○		180～220	～	190～230
兵庫県	3～7	80～100		○		180～230	～	180～230
奈良県	1～8	80～120		○		200～250	～	～
和歌山県	5～12	80～100		○		190～230	190～240	190～230

(C)

府県名	① 今後の景気動向と見通しについて	② 業界対策(意見～提案)
滋賀県	各グレードとも山積みは高い状態を継続している。しかし鋼材納期の遅れ、ボルト納期の問題など加工に影響する要素が多く、穴あきの稼働も目立つ。各鋼材納期は解消方向へ向かうとの見解だが春先までは同様の進捗と見ている。	雇用の拡張や継続の対策。
京都府	各グレード 共多忙では有るが高力ボルト、コラム、厚板形鋼等仕入資材が品薄、長納期と成っており先行発注が必要。資材不足で工期を延ばさざるを得ないのが辛い。Rグレード以下のファブが混迷を深めている。この状況は今年度もしばらく続きそう溶接工、ビ工、かじ工、トラック、クレーン全てが不足。株価の下落がこれからの景気にどう影響するか心配材料です。	材料が入らず工期延期に伴い工事重複など人員不足な為確保が大変。仕入資材入荷状況、外注(ビ工、かじ工、トラック、クレーン)等の人材確保状況他より多くのファブ間各府県での情報交換が必要。余剰鋼材、ボルト、人材の譲り合い。AIを活用して図面作成の経験値をプログラムする様な取組をしては。
大阪府	来年初めに建て方を要求されている物件が多く、各社も忙しい年末を迎えている。来年1月～3月の予定は各社50～100%決まっており、見通しは良いと考えている。	2025年の大阪万博が正式決定し、自然と期待が高まってしまう。 鋼材価格に注意。
兵庫県	各社忙しくしている状況で、この状態がしばらく続くものと思われる。短納期の仕事はボルトが段取りできない為、タミツ的に空きがあっても受注できない状況。消費税増への影響で秋口までは仕事量は多いと思われる。	仕事の受注の前に材料の納期、特に高力ボルトの納期の確認をする事が肝要である。 一次加工外注もかなりの納期が掛かっている事にも注意が必要である。
奈良県	仕事量は増えているが、コラム・ボルト等の材料入手困難な物がある。忙しい月とゆっくりの月が有り先が見えにくい。リソビックに向けて景気は上向きで有り、これから忙しくなりそう。材料およびボルト納期の混乱で受注物件を逃す事案が生じている。納期の問題が落ち着かないと死活問題になる。	人材育成と安全教育(ハネ安全帯講習の推進) ボルトおよび納期の問題の報告書までは組合として出せないものか。 共同積算事業は意味が有るのか。
和歌山県	各社共に受注残が半分以上あるので、営業的に楽観できるものの働き方改革、高齢化、材料入手難等の問題もあり先行きに不安感がある。	先行発注による資材確保。

中国支部・状況報告

(平成30年11月分)

(A)

提出：平成30年12月13日

① 各県活動状況			② 支部活動状況
県名	日時	現況要旨	活動要旨
鳥取県	8日 11日	東部支部例会 鳥取県技能振興フェア	28日 第5回中国支部会・共済推進会議
鳥根県			
岡山県			
広島県	8日 15日 16日 30日	県中小企業団体中央会理事会 "専門委員会、講演会・交流会 全構協理事会（東京） "企画委員会（東京） 30年度後期性能評価勉強会 日本建築学会中国支部第2回鉄骨製作部会	
山口県	21日	青年部会役員会	

(B)

(下記項目の内③は、該当項目に○を、④は、< >に、○をつける。)

① 手持工事量（ヶ月）		② 稼働率（％）	③ 見積物件数			④ 受注単価（千円）＜建方＝畝む＞		
県名	手持工事量	稼働率	多い	普通	少ない	S造	SRC造	コラム造
鳥取県	2～6ヶ月	90～120％	○			210～240	—	220～250
鳥根県	1～5ヶ月	80～100％			○	205～240	—	215～250
岡山県	1～6.5ヶ月	80～100％			○	215～235	260～275	225～240
広島県	2～8ヶ月	90～150％		○		215～240	—	215～250
山口県	2～6ヶ月	100％	○			280	330	270

(C)

① 今後の景気動向と見通しについて		② 業界対策（意見・提案）
県名	景気動向と見通し	活動要旨
鳥取県	年度末までグレードを問わず高稼働状況で、外注先がみつからない状況。 HTBやコラムの納期長期化が工期に大きく影響するので、受注時の材料等の納期確認は、価格以上に大切。	鳥取県 HTBに加えてコラムの納期長期化が発生し、1か月程度の短納期物件について、ゼネコンとの対応が難しくなっている。 ゼネコンに対して当業界の状況の周知を図っていただきたい。
鳥根県	会員各社とも年内は忙しく、年明け2月あたりまでの仕事量は確保している。 鋼材に関しては、高力ボルトの市中在庫逼迫と納期長期化が解消せず、受注手控えや工期順延などの影響が出始めている。 GCや建設業者に対し、この状況の周知と理解促進を業界全体で取り組んでほしい。	岡山県 営業面で順調な一方、人材不足や材料調達の問題は猶予を許さない状況だ。 特にボルトの調達困難の問題は、鉄骨製作から建て方まで一括で請負うことの多い地方の中小ファブにとっては死活問題で、資金ショートに繋がりがかねない深刻な影響が出ている。 ボルトメーカーからの発注適正化依頼には協力するが、中小ファブの救済策を別途講じてほしい。
岡山県	年末を迎え、各社とも手一杯の繁忙状況が続いており、年度末まで継続しそう。また、首都圏物件が中心のHグレードではあと数年繁忙状況が続きそうで、営業面では極めて順調。	
広島県	回答企業のうち、1社を除き稼働率100%かそれ以上で多忙と答えており、本格的な繁忙期が続いている。 手持ち工事量は1年超のHグレードを筆頭に、各社概ね今年度一杯の仕事量は確保している。 そうした中、HTBの入手困難と納期長期化は深刻さを増しており、工期遅延は頻発し、新規受注手控えの報告も届いている。 発注の適正化とメーカーの行う注文内容精査に全面協力し、入手難解消の糸口としたい。	
山口県	鉄骨工事物件数、仕事量は、先月比で若干減少傾向。 各社とも最低で2～6ヶ月の手持ち工事量を確保しており、年内は高稼働状況が続く。 工事単価は鋼材価格上昇に見合う程度は上がっている。 図面の遅れ、鋼材納期の長期化に加え、高力ボルト不足が深刻さを増しており、改善見通しが立たず、工場加工の調整や新規受注の手控えまで発生しはじめている。	

中国支部・状況報告

(平成30年12月分)

(A)

提出：平成31年1月11日

① 各県活動状況			② 支部活動状況
県名	日時	現況要旨	活動要旨
鳥取県	5日 11日 26, 27日	東部支部例会 理事役員会、次世代の会 同合同懇親会 年末安全パトロール	
島根県	6日 18日 20日	役員会、「働き方改革関連法」講習会 同忘年会 工場審査サポート(1社) 工場審査サポート(1社)	
岡山県	6日 12日	理事会・忘年会 青年部会・忘年会	
広島県	5日 8日	三役会・理事会 日本建築学会中国支部 第12回鋼構造シンポジウム	
山口県	6日	第5回理事会・懇親会	

(B)

(下記項目の内③は、該当項目に○を、④は、<>に、○をつける。)

① 手持工事量(ヶ月)		② 稼働率(%)	③ 見積物件数			④ 受注単価(千円)〈建方=含む〉		
県名	手持工事量	稼働率	多い	普通	少ない	S造	SRC造	コラム造
鳥取県	3~6ヶ月	100~130%		○		220~240	—	230~250
島根県	1~6ヶ月	80~100%			○	220~250	—	210~240
岡山県	1~6ヶ月	80~100%			○	215~240	260~275	225~245
広島県	3~7ヶ月	90~150%		○		215~240	—	215~250
山口県	2~6ヶ月	95%		○		270	310	260

(C)

① 今後の景気動向と見通しについて		② 業界対策(意見・提案)
県名	景気動向と見通し	活動要旨
鳥取県	HTBやコラムの納期長期化に改善の兆しはなく不透明な状況が持続している。 かといって現場溶接工法への変更は人員不足でできない。 受注済物件では、ボルトの入荷にあわせて建て方工程を組まざるを得ず、新規受注では、ボルトがネックで工期確約が出来ず、断る案件も発生している。	鳥取県 HTBの納期長期化が改善せず不透明なので、実態を十分把握して改善策を実施してほしい。
島根県	全般的に、2月あたりまでの仕事量は確保できている模様。 鋼材に関しては、引続き高力ボルトの市中在庫逼迫と納期長期化が解消せず、コラム等の調達に苦慮する状況は変わらない。 新年は先行き不透明感が漂い、あらゆる面で注視していく必要がある。	岡山県 高力ボルトの調達困難に、一つの県や地域で対応を図っている現状には、大きな問題がある。 年末の国交省通知は、ゼネコンの立場に立つもので、ファブが原因と取られかねない内容だ。困窮しているファブの実情を中央にしっかり周知する必要がある。 また、地方の中小ファブにとっては死活問題で、資金ショートに繋がりがかねない深刻な影響が出ており、救済策を至急講じてほしい。
岡山県	年度末まで、各社とも手一杯の繁忙状況が継続しそう。 都心部を顧客とするHグレードでは数年単位でバックオーダーがあり仕事の枯渇の心配は皆無。 一方、M以下のグレードでは春以降工場に空きが生じる恐れがあるが、投資好調時のダンピングによる利益喪失は絶対に回避すべき。 また、ボルト等材料不足で工場が稼働できないケースが発生しており要注意。	
広島県	依然として、回答企業の8割が、稼働率100%かそれ以上で多忙と答えており、本格的な繁忙期が続いている。 手持ち工事量は1年超のHグレードを筆頭に、各社概ね今年度一杯の仕事量は確保している。 そうした中、HTBの入手困難と納期長期化は深刻で、工期遅延、新規受注手控えに加え資金繰り不安の報告も届いている。 発注の適正化とメーカーの行う注文内容精査に全面協力し、入手難解消の糸口としたい。	
山口県	鉄骨工事物件数、仕事量は、先月比で若干減少傾向。 稼働率も年明けから春先にかけて少し落ち着きそう。 これまで鋼材価格上昇に見合い上昇してきた工事単価は値動きがない状況。 各社とも最低で2~4ヶ月の手持ち工事量は確保しているが、全国的な高力ボルト不足が続く中、建て方納期に8~9月を要するケースもあって、受注の選別が一段と難しくなり、工場加工場加工の調整や新規受注の手控えまで発生しはじめている。	

(四 国) 支部 状況報告

(平成30年11月分)

提出日 平成30年12月10日

(A)

①正会員活動状況		②支部活動状況
都道府県名	活 動 要 旨	活 動 要 旨
徳島	11/ 8 第8回情報交換会 11/1.19 AW(再)準備講習会	¹ 四国支部共済推進会議 日時:平成30年11月9日(金) 場所:ネストホテル松山(松山市) 参加者:55名 ² 東北支部・四国支部交流会 日時:平成30年11月9日(金) 場所:ネストホテル松山(松山市) 参加者:69名
香川	11/16 情報連絡会議(中央会) 11/20 高松支部会 11/24 大岡鉄工(株)新社長就任祝賀会	
愛媛	11/ 1 東予地区会 11/ 9 理事会 11/17 青年部例会 11/20 鋼材流通情報周知活動-建築士事務所協会-	
高知	11/ 9 理事会	

(B)

①手持工事量(ヶ月)		②稼働率(%)	③見積件数			④受注価格(単位千円)建方を含む		
都道府県名	手持工事量	稼働率	多い	普通	少ない	S造	SRC造	コラム
徳島	2 ～ 6	90 ～ 100			○	200 ～ 250	～	200 ～ 250
香川	2 ～ 7	85 ～ 110		○		260 ～ 350	～	～
愛媛	2 ～ 6	80 ～ 100		○		190 ～ 250	～	～
高知	2 ～ 5	80 ～ 100		○		200 ～ 250	～	～

(C)

①今後の見通し

都道府県名	見 通 し	意 見 ～ 提 案
徳島	11月の見積り件数は、前月比67%に落ち込んだ。県内物件も、前月比70%となっている。各組合員とも忙しい状況が続いているが、副資材の入手難等もあり早め早めの手配が必要となる。来年も仕事量は確保できそう。	性能評価制度のPR。積算会社の活用。法定福利費を含んだ見積書を実施する。鋼材、副資材の入手難が来年も続きそうです。長期的に計画している物件は、資材単価が上がってきているので注意が必要。
香川	県内見積り件数は少な目であるが、県外物件依頼もあり稼働率は先月に引き続き多忙の状況を継続している。しかし、全国的な鋼材・建築副資材の確保が難しくなっており、今後の見通しは不透明感がでている。	全構協第6回理事会でも『高力ボルト需給改善に向けた要望事項』が決議されたが、当組合としても、鋼材および高力ボルトなどの供給困難な問題に対する対応策を県へ要望することが12月18日に決定しました。この問題については、色々な方面から取り組まなければいけないと思います。
愛媛	地場物件で2月・3月まで受注分を確保。但し、この受注分はボルトの確保が出来た事による確定分で、実際には3月以降の引合いも多々あるとの事。 また、ボルト・コラムが入らない状況なので工場操業度は落ちている所も多く、今年は年末年始がゆっくり過ごせそうと自虐の声も。	コラム材・高力ボルト入手難による工場稼働率低下による経費増大をどう抑えるかも問題である。 地元建築士との話で住宅関係ではあるが鉄骨離れが起きているとの話もあり、改めてコラム材・ボルトの供給安定化に向けた関係各所への働きかけを要望する。
高知	見積り件数は前月と同じ位で前年の8割程度である。手持ち工事量はMで4～6ヶ月位でRも含め適度な稼働率で推移している。価格は横這い傾向である。今後の見通しは不安とするFABが6割程度。ボルト、コラム等の品不足により年末年始の工事が不透明なものがある。	物件報告を徹底し情報を共有し 適正価格での受注を目指す。法定福利費を明示した見積書の推進を行い全社が明示するように徹底していく。

(四 国) 支部 状況報告

(平成30年12月分)

提出日 平成31年1月10日

(A)

①正会員活動状況		②支部活動状況
都道府県名	活 動 要 旨	活 動 要 旨
徳島	12/ 4 第9回情報交換会	
香川	12/5 第5回理事会 12/11 西讃支部会 12/17～21 UTLレベル2講習会 12/18 大岡鉄工ほか工場審査サポート 12/20 大和リースほか工場審査サポート	
愛媛	12/06東予地区会 12/15青年部例会・忘年会	
高知	12/7 忘年会 ゴルフコンペ	

(B)

①手持工事量(ヶ月)		②稼働率(%)	③見積件数			④受注価格(単位千円)建方を含む		
都道府県名	手持工事量	稼働率	多い	普通	少ない	S造	SRC造	コラム
徳島	1 ～ 6	80 ～ 100			○	200 ～ 250	～	200 ～ 250
香川	2 ～ 4	90 ～ 150		○		250 ～	～	～
愛媛	2 ～ 6	80 ～ 100			○	190 ～	～	～
高知	2 ～ 5	80 ～ 100		○		200 ～ 250	～	～

(C)

①今後の見通し

都道府県名	見 通 し	意 見 ～ 提 案
徳島	12月の物件報告数は、前月比105%とほぼ前月並みであった。相変わらず、県内物件は少ない状況である。今年度も、仕事量はあると考えている組合員が多い。	性能評価制度のPR。積算会社の活用。法定福利費を含んだ見積書を実施する。鋼材、副資材不足や単価の値上がり等に絶えず注意していく。
香川	県内の設計事務所・ゼネコン共に見積件数はやや少なく、高力ボルト・コラムの需給がひっ迫している状況が続いている。しかし、他県物件は多く多忙感があり相対的には、19年度前半は現在の仕事量は継続されると思われる。	高力ボルトについては、大臣認定の韓国ボルトが使用されているところもあるが、納期については発注後2～3ヶ月を要するようです。早く供給が正常化することを期待したい。
愛媛	ほとんどのFABで2月3月までの受注分を確保。加工量の多いFABでは半年先以降の物件の手当てを考えている状況。ボルト・コラムの確保状況は先月同様に多くの日数を要するが、この事態がゼネコン・監理者にも分かってきたことが少しは救いである。	材料手配の関係でFAB各社とも加工能力をフルに発揮できない状況下であり、当然利益率にも影響が出て来ている。今年には「仮設金物の原価算出の見積・積算マニュアル」改訂版も出来るので、鉄骨加工の原価算出の洗いしや改めて自社固定経費を知る勉強を
高知	手持ち工事量はMで3～5ヶ月、Rで2～3ヶ月程度と年度末位までは確保できている、しかし見積件数が減少気味であり不安を持つFABがある。価格は横這い傾向が続いている。	物件報告を徹底し情報を共有し 適正価格での受注を目指す。法定福利費を明示した見積書の推進を行い全社が明示するように徹底していく。

九州支部状況報告
(平成30年11月分)

(A) 提出日:平成 30年 12月 3日

県名	① 県内の活動状況	② 支部活動状況
		活動要旨
福岡	・11/10 福岡県青年部会研修会・例会 ・11/21 技術委員会 ・11/26 福岡県建築鉄骨協議会	・11/16～17九州支部H部会研修会 藤木鉄工(株)工場見学 (新潟県 Sグレード)
佐賀	・11/29 経営対策委員会 11/7 定例理事会 11/9 賛助会員との懇談会 11/10 構友会GC 11/25 山下参議員後援会総会出席	
長崎	11/5 建専協 定期総会、研修会 出席 11/13 三役及び島原支部懇談会 11/19 長崎県溶接協会 第2回役員会、溶接技術競技会表彰式 出席 11/22 第6回理事会、11月例会、賛助会員との懇親会、第9回溶接技術競技会工業会表彰式	
熊本	11月12日理事会・定例会開催、17日「溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合施工技術者資格認定講習会」開催	
大分	11/15,2019年後期認定申請者へ認定説明 11/24,FAB・MOT講座(九プロ) 11/28H部会工場バトロール同行	
宮崎	1日:過積載絶滅運動大会参加 7日:宮崎県溶接競技大会開会式出席 10日:組合ゴルフコンペ・懇親会開催 28日:技能実習制度適正化講習会出席	
鹿児島	1日青年部会役員会・JSCA鹿児島地区との合同勉強会 9日JFEスチール(株)西日本製鉄所視察研修 21日経営対策委員会 30日全体会議(改正労働基準法説明会)及び忘年会	
沖縄	・11/1:おきなわ技能五輪全国大会構造物鉄工選手支援、6日:定例理事会、11日:おきなわフェスタ、13日:定例営業部会、27日:沖縄建設新聞総会、11/29日:12月の定例理事会・役員会及び米森会長との懇談会	

(B)

県名	① 手持工事量(ヶ月)			② 稼働率 (%)	③ 見積物件数			④ 受注価格(単位:千円)(建方=含む)		
	H	M	R・J・未		多い	普通	少ない	S造(H+H)	コラムH造	SRC造
福岡	6～12	3～6	1～3	90～100			○	210～260	210～260	—
佐賀	6	3～5	1.5～3	80～100		○		200～250	210～270	
長崎	6～12	4～6	—	90～100			○	220～270	220～270	—
熊本	5	3.2	3	98.5			○	—	220～280	—
大分	5～8	3		90～100			○	220～260	200～290	—
宮崎	6～14	5～10	1～4	70～100			○	186～290	190～280	—
鹿児島	9～12	1～6	1～4	80～100			○	220～280	220～300	
沖縄	2～3	2.5	—	90～100			○	250～290	240～280	

(上記項目の内、③については該当する項目に○を付けて下さい。)

(C)

県名	① 今後の景気動向と見通しについて	② 業界対策についての提案事項
福岡	・物件報告、見積物件数とも少ないが、手持工事量は堅調である。ただし、依然としてボルトの納期が長期にわたり(6ヶ月以上)、入手困難な状況で先行き不透明で工事に支障が出ている。	・適正価格の受注、会員相互の協調、情報の共有化の推進。
佐賀	・不安定な鋼材納期(コラム、ボルト)が与える影響が多大。 ・メーカーよりボルト納期回答が無く、見積が出来ない。	・ボルトの正確な供給見通しをメーカーより出してほしい。
長崎	見積物件数は少ないが、手持ち工事量は各社4ヶ月以上確保し堅調である。ボルト及び鋼材の入手難により工事の延期、変更が懸念される。	会員相互の協調及び情報の共有化
熊本	工事はある程度出ているが、先行き不明	ボルトや板等の入手難を国や県に働きかけてほしい。
大分	◎ボルト不足により受注できない物件が出ている。今後が不透明である。目の前の仕事量は多いが見積もり件数はすくないので注意が必要。	◎ボルトに関しては早めの発注しかないが、出来ない物件はボルトのキャンセルをお願いしたい。
宮崎	・民間の設備投資が堅調で全グレードとも安定しているが、今後はボルトの納期や鋼材価格の高騰が、小規模物件での鉄骨離れに繋がるのではないかと危惧している。	・S造の推進及び認定工場のPR活動と共同受注の推進 ・適正価格による受注契約(採算性の追求)
鹿児島	材料手配、現場からのチェックバック図面の遅れに振り回されている。工程のずれ込みも発生しており、何よりもボルト不足が一番の悩みである。	組合員間で情報を共有し協力し合って乗り切って行こう！
沖縄	・引合い件数は増えてきている。鋼材の入荷遅れ等で工期及び受注にも影響が出ている。	・情報の共有化及び適正価格での受注。

九州支部状況報告

(平成30年12月分)

(A)

提出日:平成 31年 1月 7日

県名	① 県内の活動状況	② 支部活動状況
		活動要旨
福岡	・12/6、18、21 品質向上パトロール ・12/13 理事会・例会(全体会議)・忘年会	・12/4、11 九州支部H部会品質安全パトロール ・12/5、第5回支部理事会、共済推進会議
佐賀	12/7 理事会・全体協議会(働き方改革セミナー) 建産連理事会出席 12/8 県工業連合会 反射炉祭り参加	
長崎	12/4 長崎県建築鉄骨研究会 第3回作業部会 開催 12/17,26,27 工場審査サポート	
熊本	12月3日熊本県鉄骨問題協議会開催、6日理事会開催、14・21日性能評価勉強会実施	
大分	12/4、12/19、12/27工場審査事前打ち合わせ 12/13三役会、理事会、全員協議会、働き方改革セミナー、懇親会	
宮崎	6日:企業PR事業特別委員会開催 11:H部会パトロール同行(斎藤鐵工所) 12日:労務管理セミナー(中央会)出席 13日:三役会議開催 19日:企業PRフェア(県主催)出展 21日:青年部会幹事会・忘年会開催	
鹿児島	8日青年部会全体会議・忘年会 13日三役会(ボルト納入業者と面談)	
沖縄	・12/7:定例営業部会・忘年会、12日～14日:機械メーカー視察研修会(大阪～神奈川県)、20日:製品検査技術者実技講習会、26日:技術委員会	

(B)

県名	① 手持工事量(ヶ月)			②稼働率 (%)	③ 見積物件数			④受注価格(単位:千円)(建方=含む)		
	H	M	R・J・未		多い	普通	少ない	S造(H+H)	コラムH造	SRC造
福岡	6～12	2～5	1～3	90～100			○	210～260	210～260	—
佐賀	6	3～6	1～4	80～100		○		200～250	210～260	—
長崎	6～12	3～6	—	90～100			○	220～270	220～270	—
熊本	5	3.2	3	99.5			○	—	23.5～26.5	—
大分	5～8	3.5～5	—	90～100			○	220～260	220～290	—
宮崎	10～14	6～12	1～4	80～100		○		186～290	190～280	—
鹿児島	10～12	1～5	1～5	80～100			○	220～280	210～300	
沖縄	2.5～3	2.5	—	90～100		○		250～290	240～280	

(上記項目の内、③については該当する項目に○を付けて下さい。)

(C)

県名	① 今後の景気動向と見通しについて	② 業界対策についての提案事項
福岡	・見積物件、報告物件とも少ないが、手持ち工事量としてHグレードで6ヶ月以上、多いところは来年いっぱい確保、Mレード以下では2～5ヶ月確保している。	・適正価格の受注、会員相互の協調。 ・特に人材の雇用・確保の推進 ・ボルト不足問題の対応
佐賀	・鋼材、ボルトの入荷動向により景気は変化する。	・業界として、ボルトメーカーに供給時期を明確に出すことを働きかけてほしい。
長崎	手持ち工事量は各社堅調である。ただし、見積物件数が少ない傾向にある。	ボルトの安定供給をメーカーに強く要望する。
熊本	手持ち工事量はあるが、先行きは不明	
大分	◎来年末まで仕事は忙しい。◎仕事量はありますが、諸事情により工期の遅れやスムーズに仕事が流れず手持ち時間があつたりうまく進行しない昨今です。	◎共積会の情報をもとに連絡を密に取り合うことに尽きる。
宮崎	・グレードにより手持ち量にはばらつきがあるものの、時期的な要素が強くなり、需要は依然として高い状況にある。引き続き鋼材、副資材等の動向に注意が必要。	・S造の推進及び認定工場のPR活動と共同受注の推進 ・適正価格による受注契約(採算性の追求)
鹿児島	ボルトの件で先が見えない。ボルト不足により工程が定まらず苦労している。受注の予定も立たず契約出来ない。	県・市建築課に資材関係の納期について説明し、鉄骨造を変更しないよう要望。
沖縄	・高力ボルト等の入荷遅れの問題が発生してから、納期及び受注に影響があり深刻になっている。	・情報の共有化及び適正価格での受注。